

# 第13回 通常総会 資料

日 時 : 2023年6月1日(木) 13:15~14:15  
会 場 : 如水会館 (東京都千代田区一ツ橋)  
及び Microsoft Teams によるオンライン併催

## 目 次

	ページ
報告1. 2022年度事業報告の件	
・2022年度事業報告	1
＜表彰者一覧、2022年度事業・行事实績詳細＞	8
・会員の状況	12
・2022年度会計報告	13
・2022年度監査報告	14
報告2. 2023年度事業計画の件	
・2023年度支部方針	17
・2023年度事業別方針	19
・2023年度予算	25
・2023年度支部活動計画	26
議案1. 2023年度支部組織・役員体制の件	
・2023年度支部組織(案)	27
・2023年度支部役員体制(案)	28



報告1.

2022 年度事業報告の件

# 2022年度事業・行事实績一覧

( )内数値は日付  
[ ]内数値は開催回数

3/28/2023

事業 開催 年月	総 会 定期理事会 顧問会	事業担当 理事会	講演・講習会 [10]	見学会 [12]	社会活動 [5]	支部報 行事業内 [7]	学生フォーミュラ 活動支援 [13]	学生活動 学生自動車研究会 [25]
4月	【ハイブリッド】 第6回理事会(15) ＜小野測器＞	【Web】 #1学生活動(9) 【Web】 #1支部報(12) 【ハイブリッド】 #1講演・講習(15) ＜小野測器＞ 【ハイブリッド】 #1見学会(15) ＜小野測器＞ 【ハイブリッド】 #1社会活動(15) ＜小野測器＞ 【Web】 #2学生活動(23) 【Web】 #1試走会WG(29)	【Web】 ・カーボンニュートラル (28)＜ポッシュ＞				【開催中止】 ・学自研大会 【Web】 ・技術交流会(30)	【Web】 ・#1学術研究講演会実行 委員会(9) 【Web】 ・学自研大会 (参加)(23) #1学生委員会(23) 【Web】 ・#2学術研究講演会実行 委員会(23)
5月	【ハイブリッド】 本部春季大会(25-27) ＜パシフィコ横浜＞	【Web】 #2試走会WG(26)	【ハイブリッド】 ・次世代IT基盤技術 (20) ＜日立横浜＞		・小学生くるま未来体験 教室(21) ＜宇都宮＞	・座談会(26) 「オンラインで廻る女子旅」	・学生フォーミュラ支部 試走会(14) ＜エコバ＞	【Web】 #2学生委員会(28)
6月	【ハイブリッド】 第12回通常総会(1) ＜如水会館＞	【Web】 #2支部報(6) 【Web】 #3学生活動(11) 【Web】 #3試走会WG(28)	【ハイブリッド】 ・特別講演：坂本 秀行氏 (日産自動車副社長) (1) ＜如水会館＞	・石坂産業技術者交流会 (23)＜埼玉県三芳町＞			【Web】 ・F- SAEチャレンジ講座基礎 編(4) 【ハイブリッド】 ・設計講座(18) ＜神奈川工科大学＞	【Web】 ・#3学術研究講演会実行 委員会(11) 【Web】 ・#3学生委員会(25)
7月		【Web】 #2社会活動(7) 【Web】 #3支部報(11) 【開催中止】 #1総務		・JARI (5) ＜茨城県つくば市、 城里町＞ ・日本メクトロン (27)＜茨城県牛久市＞	・キッズエンジニア (29～30)＜横浜＞	・支部報No.78(1) 電子版配付開始	・学生フォーミュラ支部 試走会(23～24) ＜エコバ＞	【Web】 ・#4学術研究講演会実行 委員会(30) 【Web】 ・#4学生委員会(30)
8月		【Web】 #2見学会(16) 【Web】 #2講演・講習(31)	【ハイブリッド】 ・車両運動制御インホイ ールモータ (3) ＜神奈川工科大学＞		【オンライン表彰】 ・エコ1大会(27～28) ＜東急自動車学校＞		・学生フォーミュラ支部 合同試走会(8～11) ＜エコバ＞	【Web】 ・#5学生委員会(27)
9月		【Web】 #2総務(2)	【ハイブリッド】 ・モード解析 (29-30) ＜リオン＞	・銚子電鉄 (16)＜千葉県銚子市＞	【開催中止】 ・小学生くるま未来体験 教室 ＜新潟工業短期大学＞	・私の自動車博物館探訪 記取材(4- 5)＜スズキ歴史館＞	・全日本学生 フォーミュラ: 6～10)	【Web】 ・#6学生委員会(17)
10月	【ハイブリッド】 第1回理事会(合同役員会)(4) ＜日産栃木工場＞ 【ハイブリッド】 本部秋季大会(12-14)	【Web】 #4学生活動(1) 【Web】 #4支部報(12) 【ハイブリッド】 #3講演・講習(25)	・カーボンニュートラルに 向けた技術開発 (24) ＜産総研福島＞	・ANA (6) ＜東京都大田区＞ ・ボルシェ (21) ＜千葉県木更津市＞	北海道・関東支部共同 企画 ・小学生くるま未来体験 教室 (15)＜札幌＞ ・公開講座 明日へのテクノロジー セミナー (30)＜新潟工業短期大学＞		・学生フォーミュラ支部 試走会(8) ＜エコバ＞	【Web】 ・#5学術研究講演会実行 委員会(1) 【Web】 ・#7学生委員会(22)
11月		【ハイブリッド】 #3見学会(17-18) 【Web】 #3総務(30)		・石坂産業技術者交流会 (4)＜埼玉県三芳町＞ (入会キャンペーン対象者 限定企画)		・座談会(8) 「理系へ進む」	【Web】 ・Solid Works講習会(19) 【ハイブリッド】 ・Solid Works講習会(19) ＜神奈川工科大学＞	・カート講習会 (13)＜City Kart＞ 【Web】 ・#8学生委員会(28) 【開催中止】 ・国際交流事業台湾派遣
12月	【Web】 グループ(企業窓口)担当者 連絡会(7)	【書面審議】 #4総務 【ハイブリッド】 #3社会活動(1) 【ハイブリッド】 #5支部報(5) 【Web】 #5学生活動(17)	・防衛装備庁 (16) ＜陸上装備研究所＞	【オンライン】 ・銚子電鉄見学会オンデマ ンド (1-1/31)			【Web】 ・EV講習会(2) 【Web】 ・EV技術交流会(2) 【開催中止】 ・Solid Works講習会(3) ＜日本大学＞ ・EV試走会(10) ＜エコバ＞ 【ハイブリッド】 ・ダンバー講座(17) ＜早稲田大学＞	・安全運転講習 (20)＜コヤマドライブングス クール＞ 【Web】 ・#6学術研究講演会実行委 員会(17) 【Web】 ・#9学生委員会(24)
1月	【ハイブリッド】 第2回理事会(合同役員会)(17) ＜如水会館＞ ・特別講演：高橋二郎氏 (日本モータースポーツ 記者会 会長)	【ハイブリッド】 #4見学会(17)	【ハイブリッド】 ・新春特別講演 (17) ＜如水会館＞	・明電舎太田事業所 (27) ＜東京都太田市＞		・支部報No.79(1) 電子版配付開始		【Web】 ・#10学生委員会(28)
2月		【Web】 #6学生活動(4) 【ハイブリッド】 #6支部報(7) 【Web】 #4講演・講習(7)	【ハイブリッド】 ・インホイールモータEVの 動向 (22.20-4/9) ＜慶応義塾大学新川崎キャン パス＞	・JFEスチール 東日本製鉄 所 (2) ＜千葉県千葉市＞ ・関西支部・関東支部共催 工場製作所びわこ工場 (24) ＜滋賀県大津市＞			【開催延期】 ・Inspire講習会(3)	【Web】 ・#7学術研究講演会実行委 員会(25) 【Web】 ・#11学生委員会(25)
3月	【ハイブリッド】 ・特別講演：奥田章順氏(9) (航想研) 【ハイブリッド】 功労表彰選考委員会 (8) 【書面審議】 2022年度顧問会(24)	【ハイブリッド】 #5総務(6)	【ハイブリッド】 ・音響評価講習会 (3) ＜小野測器＞	・積水ハウス 資源循環センター / Tomorrow's Life Museum (17) ＜茨城県古河市＞ ・東工大 超スマート社会 (23) ＜東京都目黒区＞		【Web】 ・関西支部との交流会 (13) ・中部支部との交流会 (14)＜刈谷＞	【開催中止】 ・溶接講座、制御講座	・四輪研修 (2)＜トヨタモビリティ＞ 【ハイブリッド】 ・学術研究講演会(9) (日大理工) ・国際交流事業 タイ学生交流イベント(8-13) 【Web】 ・#12学生委員会(25) 【開催中止】 ・国際交流事業タイ派遣

# 1)第12回支部通常総会

関東支部第12回通常総会は、新型コロナウイルス感染症対策のため如水会館を拠点として、現地とオンラインのハイブリッド開催とした。

遠藤真支部長の議事進行により下記議案が審議され、いずれも異議なく承認された。

〔開催日時〕2022年6月1日(水) 13:15～14:15

〔出席者数〕関東支部会員 83名

〔議 事〕 報告1:2021年度事業報告の件  
報告2:2022年度事業計画の件  
議案1:2022年度支部組織・役員体制の件

通常総会終了後、同会場において表彰式、特別講演会を開催した。会員交流会は、中止とした。

〔表彰者〕支部表彰(支部功労賞:6名)

フェロー認定証授与4名(内支部長推薦3名)

〔特別講演会〕『自動車産業:成長のためのリアルな課題』

講師:坂本 秀行 氏

自動車技術会 元会長 (出席71名)

講演会は、会場からオンラインでも配信した。

# 2)支部役員会

会務・運営・事業計画に関する事項を審議するため、理事会、顧問会並びに事業担当理事会を開催した。

## 2-1)支部役員会

### <理事会>

2022.4.15	2020・2021第6回理事会	小野測器/オンライン	理事60名
10.4	2022・2023第1回理事会(顧問同席の合同役員会)	日産栃木/オンライン	顧問4名、理事55名
2023.1.17	2022・2023第5回理事会(顧問同席の合同役員会)	如水会館/オンライン	顧問4名、理事64名

### <顧問会>

2023.3	2022年度顧問会	書面審議	-
--------	-----------	------	---

### <新春懇談会>

2023.1.17	特別講演会: テーマ:『今日も今日とてプッシュ&ルーズ』 講師:日本モータースポーツ記者会 会長 代表取締役社長 高橋 二郎氏 関東支部新春懇談会	オンライン/如水会館	217名
		開催中止	-

## 2-2)事業担当理事会

### <総務担当理事会>

2022.7	第1回総務担当理事会	開催中止
9.2	第2回総務担当理事会	オンライン
11.30	第3回総務担当理事会	オンライン
12	第4回総務担当理事会	書面審議
2023.3.8	第5回総務担当理事会	関東支部オンライン

### <講演・講習会担当理事会>

2022.4.15	第1回講演・講習会担当理事会	小野測器/オンライン
8.31	第2回講演・講習会担当理事会	オンライン
10.25	第3回講演・講習会担当理事会	浪江ホテル双葉の杜/オンライン
2023.2.7	第4回講演・講習会担当理事会	オンライン

<見学会担当理事会>

2022. 4.15	第1回見学会担当理事会	小野測器
8.16	第2回見学会担当理事会	自動車会館/オンライン
11.17-18	第3回見学会担当理事会	天童ホテルビューくろだ/オンライン
2023.1.17	第4回見学会担当理事会	自技会本部会議室/オンライン

<支部報担当理事会>

2022. 4.12	第1回支部報担当理事会	オンライン
6.6	第2回支部報担当理事会	オンライン
7.11	第3回支部報担当理事会	オンライン
10.12	第4回支部報担当理事会	オンライン
12.5	第5回支部報担当理事会	関東支部/オンライン
2023.2.7	第6回支部報担当理事会	関東支部/オンライン

<社会活動担当理事会>

2022. 4.15	第1回社会活動担当理事会	小野測器/オンライン
7.7	第2回社会活動担当理事会	オンライン
12.1	第3回社会活動担当理事会	自動車部品会館/オンライン

<学生生活活動担当理事会>

2022. 4.9	第1回学生生活活動担当理事会	オンライン
4.23	第2回学生生活活動担当理事会	オンライン
6.11	第3回学生生活活動担当理事会	オンライン
10.1	第4回学生生活活動担当理事会	オンライン
12.17	第5回学生生活活動担当理事会	オンライン
2023.2.25	第6回学生生活活動担当理事会	オンライン

<試走会WG>

2022. 4.29	第1回試走会WG	オンライン
5.26	第2回試走会WG	オンライン
6.28	第3回試走会WG	オンライン
8.3	第4回試走会WG	オンライン

<学生自動車研究会(学生委員会)>

2022. 4.23	第1回学生委員会	オンライン
4.23	学自研大会(参与会)	オンライン
5.28	第2回学生委員会	オンライン
6.25	第3回学生委員会	オンライン
7.30	第4回学生委員会	オンライン
8.27	第5回学生委員会	オンライン
9.17	第6回学生委員会	オンライン
10.22	第7回学生委員会	オンライン
11.28	第8回学生委員会	オンライン
12.24	第9回学生委員会	オンライン
2023. 1.28	第10回学生委員会	オンライン
2.25	第11回学生委員会	オンライン
3.25	第12回学生委員会	オンライン

### 3) 表彰

#### 3-1) 2022年度支部功労者表彰選考委員会

表彰選考委員会を組織し、推薦書をもとに2022年度支部事業活動功労者の選考を行った。表彰選考委員会は2023年3月8日(水)に開催され、本年度推薦のあった候補者から7名の個人と3団体を選考し支部長に報告、2022年度表彰者を決定した。

[支部功労者表彰選考委員会]

委員長: 飯高敏

委員: 渡部寿、野田淑子、渋谷弘之、倉橋秀範、岡部顕史、狩野芳郎 各理事

#### 3-2) 2022年度 関東支部功労者表彰授賞式開催予定

関東支部第13回通常総会(2022年6月1日・如水会館)に引き続き、大塚支部長から2022年度支部事業活動功労者に表彰状及び記念品を授与する予定である。

#### 2022年度 関東支部事業活動功労者

表彰区分	受賞者
功労賞	遠藤 真
	市原 利信
	高橋 裕樹
	山本 敏朗
	阿部 和彦
	柳井 達美
	川上 洋生

#### 3-3) 2022年度 関東支部学生生活動功労賞授賞式

関東支部学術研究講演会(2023年3月9日・日本大学理工学部タワースコラ)の場において支部長代理から2名の表彰を行った。

#### 2022年度 関東支部学生生活動功労者

受賞者
千葉 橘平
野村 有輝

#### 3-4) 2022年度 学生自動車研究会功労賞授賞式

関東支部学術研究講演会(2023年3月9日・日本大学理工学部タワースコラ)の場において支部長代理から表彰を行った。

#### 2022年度 学生自動車研究会功労賞受賞者

受賞者
伊藤 大貴
渡邊 久葉

## 4)各種行事 企画・開催

2022年度は、「地域社会に貢献」「会員相互の交流と研鑽の機会の提供」「学生、若手技術者の育成に貢献」「事業を支える運営体制の強化」を方針とした。これらを踏まえ「他支部連携の継続と発展」「児童・生徒・学生・一般向け活動の充実」「満足度の高い魅力ある講演・講習会、見学会の推進」「技術者交流の継続による定着」「学生フォーミュラ活動の技術レベル底上げ」「自動車業界に学生を惹き付ける活動の検討継続」「認知度向上の為の情報発信の強化」「会員数の増強」「運営マニュアルの整備」の9項目を重点取り組みとして各担当理事が事業計画を遂行した。

長引くコロナ禍であるが、行動制限が少し緩和されてきた中でリアルイベントも徐々に再開した。一方で、リアルイベントは現地参加者が限定されることから、会員からの要望が多いオンライン化も継続した。その結果、ハイブリッド開催も増え、昨年同様、多くの会員に参加していただく機会を提供した。

### 4-1) 総務

- ① 2022・2023年度第1回支部理事会を2022年10月4日にハイブリッド(日産自動車栃木工場/オンライン)にて開催した。理事会終了後、現地参加者限定で日産自動車栃木工場の見学を行った。昨年同様、懇親パーティーは開催中止とした。
- ② 他支部との連携強化については、北海道支部と共同で実施している「くるま未来体験教室」に関東支部としても3年ぶりに参加した。支部報活動に於いては、定着化してきた中部支部、関西支部との交流会を現地及びオンラインで実施した。東北支部との共催では、初めてとなる合同講演会「カーボンニュートラルに向けた技術開発」を開催した。また、関西支部と共催で「堀場製作所びわこ工場見学会」を開催した。エコパでの学生フォーミュラ支部合同試走会は、コロナ禍に於いて分散開催を企画・実行した。
- ③ 技術者向け交流会  
技術者向け交流会の活動として、6月と10月に石坂産業の技術者交流会を実施した。10月の技術者交流会は、本部入会キャンペーンと連動した企画とし、若手技術者に参加していただいた。
- ④ 中高生向けエコ1チャレンジカップについては、3年ぶりに、現地走行を再開し、現地マッチ17チーム、リモートマッチ2チームが参加した。
- ⑤ 会員数減に歯止めをかける目的で28歳以下を対象に、本部が入会キャンペーンを実施。本部入会キャンペーンの効果は絶大で、増1,052名の内、918名が本部入会キャンペーン利用者であった。また、本部入会キャンペーンと連動した限定行事を実施。
- ⑥ 運営マニュアルの整備  
支部合同試走会における事務局業務の外注化に向けて「学生フォーミュラ合同試走会事務局マニュアル」を作成した。また、講演・講習会、見学会、支部報マニュアルの改訂を実施した。
- ⑦ コロナ禍における会員サービス継続の為、昨年に引き続いてオンデマンド見学会『東京工科自動車大学校見学会』を開催し、他支部も含め多数参加いただいた。

〔総務担当理事会〕 飯高敏主担当理事、岡部顕史、倉橋秀範、渋谷弘之、野田淑子、本田康裕、  
柳井達美、渡部寿 各理事

### 4-2) 講演・講習会

講演・講習会事業は、「広い層の会員に対し、より満足度の高い魅力ある講演・講習会」を方針として、10件のイベントを企画・開催した。コロナ感染防止ガイドラインにそって対面イベントも再開、その一方で新型コロナ対応として始めたオンライン開催は、参加者の利便性もあり定着したため、7件のハイブリッド開催、2件の対面開催、1件のオンライン開催となった。また、見学会との合同イベントとして「JARI見学会」を開催、東北支部との共催イベントとして「産総研福島」を開催した。

〔講演・講習会担当理事会〕 渡部寿主担当理事、猪瀬潤副担当理事、石動谷允康、岩井信夫、  
大森浩、尾高成也、加藤武士、筑後隼人、長尾健一、長澤剛、森田賢治、  
森田泰弘、山川淳也 各理事

#### 4-3) 見学会

見学会事業は、「新たな発見を提供できる見学会」の企画、「新しい視点、新しい感覚を吸収できる見学会」の運営を方針に12回の見学会(ミニ講演付)をコロナ感染防止対応ガイドラインにそって対面開催した。その一方で、会員から人気の高い見学会に「なかなか参加できない」、「オンライン化も検討して欲しい」との声を反映して、対面で開催した「銚子電鉄見学会」は、録画・編集を行いオンデマンドで配信し、多くの会員に視聴していただくことができた。また、技術者交流会は、より良い交流会企画実現への布石として参加対象を中堅と若手に分けて2回開催した。

[見学会担当理事会]野田淑子主担当理事、藤川忠弘副担当理事、青林龍多、明石浩二、池内亮蔵、大河戸昌也、花澤淳之、山崎慎也、山本敏郎、渡辺健 各理事

#### 4-4) 支部報[高翔]の編集刊行

記事については、幅広い層に読んでいただけるものを厳選した。

##### <刊行実績>

No.78を特集「まわる」で、2022年7月に刊行した。電子版への移行後に届いた会員の声を受けて電子版の読みやすさを改善した(対象は、特集記事)。座談会は対面方式が復活、自技会会議室を利用し参加定員を絞って実施した。

No.79を特集「すすむ」で、2023年1月に刊行した。電子版を更に読みやすくするために改善対象範囲を拡大した。女性座談会は、No.79と同様に自技会会議室を利用し参加定員を絞って実施した。また、定着化してきた中部支部、関西支部との交流会をそれぞれ1回、オンラインと対面で実施し、アンケート結果の共有、共通課題などについて活発な情報交換を実施した。

[支部報担当理事会]渋谷弘之主担当理事、大宮正毅副担当理事、今村勝、臼井拓也、熊谷徹、佐々木領一、成澤和幸、本田康裕、松田淳、柳井達美 各理事 (株)大成社

#### 4-5) 社会活動

「教育支援、地域活動の機会を通じて工学教育支援で社会に貢献」「重点活動地域での活動継続、他支部・本部との連携」「小中高向けプログラムのレベルアップ(進化検討)」を方針として、小学生対象の「くるま未来体験教室(年度内3回:宇都宮・横浜・札幌)」、「新潟工業短期大学との共催イベント(公開講座)」を開催した。新型コロナウイルスの影響で「新潟工業短期大学」におけるくるま未来体験教室は開催中止となった。北海道支部との共催で実施しているくるま未来体験教室は、3年ぶりに北海道支部と共同で開催した。また、キッズエンジニア横浜2022にも参加した。3年ぶりに現地走行を実施したエコ1チャレンジカップに於いては、審査及び表彰を実施した。東北支部との次年度連携の視察および小中高向けプログラムの進化にむけた新レゴキットの購入と整備を実施した。

[社会活動担当理事会]倉橋秀範主担当理事、岩崎雅彦副担当理事、阿部和彦、小椋和義、柏瀬一、佐野吉徳、鈴木真人、富樫晃、向井正和、武藤英治、横山篤、渡辺芳樹 各理事

#### 4-6) 学生活動

- ①2022年度学術研究講演会は、4年ぶりに現地開催を復活し、同時にオンラインでの発表(20件)を含めたハイブリッド開催とした。講演102件(うち英語9件)、聴講者(参加者)は190人だった。ポスター発表と技術展示は、中止とした。

特別講演は、奥田章順氏(株式会社航想研)をお招きして『航空界の変革をリードするAAM/eVTOL(所謂「空飛ぶクルマ」)』と題して、ハイブリッドで実施した(視聴者:80名)。

- ②22年度で13回目となる国際交流に於いて計画した日本から学生を海外(タイ・台湾)に派遣するプログラムは、新型コロナウイルスの影響で中止となった。
- ③関東支部学術研究講演会に合わせて学生を台湾、タイから招聘するプログラムは中止となったが、タイから来日した学生が学術研究講演会で研究発表を行い、その後、学自研メンバーとの意見交換会と自動車メーカーの見学を実施した。



[学生活動担当理事会]岡部顕史主担当理事、馬場雅之副担当理事、伊藤秀明、大蘆嘉郎、岡崎昭仁、川上洋生、小林佳弘、佐藤一成、鈴木康弘、田中淳弥、中村道郎、樋口真文、三原雄司、渡邊一雄 各理事

#### 4-7) 学生自動車研究会

学生委員会が昨年度新型コロナウイルスの影響で開催中止となったイベントを再企画して、講習会・研修会を3回開催し、学生活動支援組織(担当理事会、参与会、支援員)が側面から指導、助言した。

[学生委員会役員]委員長 伊藤大貴(日本大学)、副委員長 渡邊久葉(神奈川工科大学)、副委員長 長尾義大(国士舘大学)、書記 山之内晶(神奈川工科大学)、内田凌介(神奈川工科大学)、広報 榎本卓也(日本大学)、福本哲夫(東京電機大学)、渡部悠人(国士舘大学)、会計 藤原誼紀(神奈川工科大学)、柴橋和真(中央大学)、国際交流 久地樂昌紀(関東学院大学)

#### 4-8) 試走会WG

22年度は、コロナ禍に於いて試走会の分散開催を企画し、5月と7月に支部試走会(17校参加)、8月に支部合同試走会(28校参加)を開催した。学生のスキルアップのためにオンラインで交流会を2回、オンラインとハイブリッドで講座を6回、EV試走会を1回開催した。学自研交流会、溶接講座、制御講座は、新型コロナウイルスの影響で中止となった。また、今年度新たに企画したInspire講習会は、開催を延期した。

[試走会WG]狩野芳郎主担当理事、本田康裕副担当理事、草加浩平、鈴木隆、関根太郎、東宮真左人、中澤広高 各理事 その他拡大メンバー:小林正朋、土屋高志

## 2022年 関東支部功労賞受賞者一覧

表彰区分	氏名	所属	表彰理由
1 功労賞 (個人)	遠藤 真	元日野自動車(株)	2020,2021年度の2年間、関東支部 支部長を務めた。 就任直前からのコロナ禍で計画した行事のほとんどが中止という状況に於いて他支部に先駆けてオンラインでの理事会や見学会の開催を主導した。 困難な支部運営を強いられながらも会員サービスの低下を食い止めることなく尽力したことは支部事業への多大な貢献である。
2 功労賞 (個人)	市原 利信	日野自動車(株)	2019年度より総務担当理事として活動し、2020・2021年度の2年間、関東支部 支部長補佐と総務担当理事を務めた。 コロナ禍での行事開催ガイドラインの検討や制定についてリーダーシップを発揮するとともに、オンライン開催の利を生かし担当理事会へ多く出席して活動実態を把握することに努めた。組織拡大活動において、特命WG代表として主導し、加入の助めの編集、新業種候補企業の一覧作成等、今後の活動の基盤情報を整えた。細やかな対応でコロナ禍の支部運営を支えた実績は支部活動への多大な貢献である。
3 功労賞 (個人)	高橋 裕樹	(株)本田技術研究所	2018年度から講演・講習会担当理事に就任しJAXAでの講演会を幹事として開催した。 2019年度からは主担当理事として講演・講習会担当理事会の活動を活性化させ、理事の役割見直し、合宿の再開などによって担当理事の企画内容を大いにレベルアップさせた。 2020年度はコロナ禍で多くのイベントを中止せざるを得ない中、初のオンライン配信、オンデマンド配信の講演会と講習会を開催し、会員サービスの維持・継続に大きく貢献した。
4 功労賞 (個人)	山本 敏朗	(独)自動車技術総合機構 交通安全環境研究所	2017年より関東支部理事を務め、自身の持つ経験や知見を生かし魅力ある見学先発掘に尽力してきた。 特に研究機関・環境施設等への積極的なアプローチにより新規領域での見学会開催を実現してきた。 また担当理事会内に於いては自身の理事経験から得た見学先発掘に関するミニ講演を行い、新任理事のみならず経験豊富な理事にも多くの気づきを与えた。新型コロナ感染対策を要し、再開の見通しが得られない見学先が数多くある近年においても、関係者との綿密な調整を欠かさず、見学会開催(再開)に向けて尽力し、率先し実現に繋げた業績も、支部活動および本会事業の発展に大きく寄与するものである。
5 功労賞 (個人)	阿部 和彦	元マレリ(株)	総務担当理事として2016年より4年間活動し、うち2年間を主担当理事として支部運営に携わった。2020年より社会活動担当理事会へ異動し、キッズエンジニアとエコ1チャレンジカップの担当として、企画と実施を精力的に推進した。特にエコ1チャレンジカップでは、現地とオンラインのハイブリッド開催調整と評価・集計および表彰式対応までを一貫して取組んだ。さらに北海道支部へのFCVキットカー譲渡についても積極的に推進し、支部活動に多大な貢献をした。
6 功労賞 (個人)	柳井 達美	日産自動車(株)	関東支部理事として2016年度から現在まで7年間支部報事業活動に従事、記事の企画、編集作業、座談会イベントの主催などを数多くこなし、ベテランメンバーとして本事業活動には欠かせない存在である。 加えてテーマや記事の案出しにあたっては常に先陣をきって提案し、担当記事の編集活動も毎回余裕をもって完遂している点はチームの規範となるものである。更に2018年度からは総務担当理事としても支部活動に尽力している。本部における文献情報収集委員会の委員長を始め、数多くの事業も兼任するなか、関東支部事業活動において着実に実績をあげている。
7 功労賞 (個人)	川上 洋生	(元)日立Astemo株式会社	2016年度に関東支部理事に就任し、現在に至るまでの6年間、学生活動担当理事として以下のような学生活動の活性化や若手の技術者育成に尽力した。 ・自動車業界に学生を惹きつける活動WGメンバー ・学自研企画のTOD見学会の担当理事 ・2022年度の関東支部学術研究講演会(ICATYE)実行委員長
8 感謝状 (団体)	株式会社SUBARU	/	会員増強活動で、今年度初めの1589名から、1747名(3/1時点)まで、158名という顕著な会員増にご尽力頂きました。
9 感謝状 (団体)	トヨタ交通安全センター ・モビリティ		2021年度より2年連続で行事受け入れ、実施にご尽力頂きました。 学自研の活動趣旨に賛同、学生の安全意識向上につなげるため、通常とは異なる学生の要望を取り入れた実技プログラムを設定くださるとともに、研修費用も通常より低廉な対応をくださることで、学生会員の参加をしやすくするなど、本会活動活性化のための貢献は大きく、今後も本会活動に協力して下さることを期待させて頂きました。
10 感謝状 (団体)	日本大学理工学部		2022年度自動車技術会関東支部・学術研究講演会(ICATYE)の会場として格別な配慮のもと快くご提供いただいた。開催準備及び運営においても、同大学の多くの学生スタッフの協力や関係者の周到な対応により、学術研究講演会を成功に導くことができました。

< 選考委員会 >

日時・場所

選考委員

2023年3月8日 15:00~16:00 自動車技術会第4会議室/オンライン

飯高理事(総務)、渡部理事(講演・講習会)、野田理事(見学会)、渋谷理事(支部報)、倉橋理事(社会活動)、岡部理事(学生活動)、

狩野理事(試走会WG)

## 2022年度 関東支部学生活動功労賞受賞者一覧

表彰区分	氏名	所属	表彰理由
1 功労賞 (個人)	千葉 橋平	日本大学生産工学部	FM関東から学自研メンバーとして参加し、本年からFM関東の支部学自研への合流に当たり ・学自研メンバーに対するFM関東および学生フォーミュラ活動の理解促進(情報共有)。 ・学自研活動、フォーミュラ活動の活発化の為双方の行事の積極的PRによる参加促進。 ・FM関東企画「秋の実践的 SOLIDWORKS & Simulation 対面講座」の取り仕切り。 等 双方の活動の融合に向け尽力された。
2 功労賞 (個人)	野村 有輝	東京電機大学大学院	月例の学生委員会の中では積極的に発言し、会の活性化に貢献した。また、コロナ禍における対面イベントとして「カート講習会」の企画担当を自ら手を挙げて引き受け、より一般学生が参加しやすいように「カート講習会のしおり」を作成するなどの工夫をして募集をかけた。その結果、定員20名に対して20名の応募があり、学自研の認知度向上に大きく貢献するとともに、感染防止対策や安全対策などに注意を払いながらリーダーシップを発揮してイベントを完遂し、アンケート結果のまとめを含めほぼ一人での対応だった。これらの行動は他の規範となるものであった。

## 2022年度 学生自動車研究会功労賞受賞者(本部表彰)一覧

表彰区分	氏名	所属	表彰理由
1 功労賞 (個人)	伊藤 大貴	日本大学大学院	2021年度に副委員長ならび書記(兼任)として、2022年度に委員長として、学生委員会の運営を主体的に務めた。学生委員提案による企画については、企画、募集、実施、報告、反省という一連の活動を取りまとめ、また多くの学自研行事にも積極的に参加している。コロナ禍の中、見学会や講演会などの企画実施に向けて、月例の学自研学生委員会で、活発な発言と行動を通じ、学自研の活性化に貢献した。 このような学自研活動に対する積極的且つ真摯な取り組みは、他の学生会員に規範を示すことにもなっている。
2 功労賞 (個人)	渡邊 久葉	神奈川工科大学大学院	関東支部の学生フォーミュラ活動主体であるFM関東を学自研の活動に組み入れ、関東支部学自研の副委員長として、FM関東の運営メンバーおよび協力する他支部のメンバーによる企画運営をとりまとめ、今年度は以下の活動実績をあげた。新たにサスペンション設計講習会を対面で開催、中断していた学生主体の試走会を年間4回開催することにより学生運営を再構築。ダンパー講座をハイブリッドで再開し、その対象を全国のチームに拡大した。また、継続しているEV技術交流会について、支部を超えて全国のEVチームおよびEVへ転換を検討しているチームの情報交換場所としてLINEを活用し、チーム間の情報交換を活性化するなど、学自研活動への貢献は多大である。

<2022年 事業・行事実績詳細>

■講演・講習会

No.	実施時期	参加	テーマ	講演・講習題目	講師	実施会場
1	2022.4.28	140	カーボンニュートラルに向けたボッシュの取り組み事例 ー 車載用・定置型燃料電池の取組紹介 ー	カーボンニュートラルに関する事業活動概要報告と水素・燃料電池に関する事業報告。	ボッシュ(株) SOFCプロジェクト推進室	高橋 庄吾 オンライン(ライブ)
2	5.20.16-24	150	次世代IT基盤技術 ークルマを支えるソフトウェア研究開発 ー	① モビリティを支えるソフトウェア開発・運用技術 ② 複雑さと規模に対処するシステム・ソフトウェア開発環境 ③ 日立オープンラボ横浜見学	(株)日立製作所 研究開発グループ社会システムイノベーションセンタ 日立Astemo(株) 次世代モビリティ開発本部	寺岡 秀敏 川上 真澄 松原 正裕 (株)日立製作所 研究開発グループ (神奈川県横浜市) オンライン (オンデマンド配信)
3	6.1.6.2-18	44	関東支部総会記念講演会	「自動車産業：成長のためのリアルな課題」	自動車技術会 元会長	坂本 秀行 如水会館 (東京都千代田区) オンライン (ライブ&オンデマンド配信)
4	8.3.9.1-11	141	インホイールモーターによる車両運動制御の飛躍 ー 電動車と運動制御のブレークスルーを目指して ー	① インホイールモータシステムのブレークスルー技術 ② EV時代に向けた車両運動性能の革新 ③ 神奈川工科大学 研究開発設備見学 ④ ラウンド・テーブル・ディスカッション	(株)日立製作所 研究開発グループ トヨタ自動車(株) 神奈川工科大学 創造工学部	高橋 暁史 勝山 悦生 山門 誠 神奈川工科大学 (神奈川県厚木市) オンライン (オンデマンド配信)
5	9.29.30.10.26-11.22	31	基礎から分かるモード解析 ー 振動の入門講座：初心者を対象とする講義と最新の実験解析システムによる実演	① 振動の基礎 ② 信号処理と振動試験の方法と技術 ③ 振動問題の予測と対策への指針 ④ 振動・音響計測のモード解析システム実習	法政大学教授 キャテック(株)	御法川 学 西留 千晶 リオン(株) (東京都国分寺市) オンライン (オンデマンド配信)
6	10.24	24	カーボンニュートラルに向けた技術開発 ー 産総研 福島再生可能エネルギー研究所の取組み ー	① 産総研福島再生可能エネルギー研究所におけるカーボンニュートラルに向けた水素技術開発 ② PV搭載EVの普及に向けたFREAの取り組み ③ 講演にともなう施設見学	(国研)産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所	古谷 博秀 水野 秀範 産総研 福島再生可能エネルギー研究所 (福島県郡山市)
7	12.16	38	防衛装備庁 陸上装備研究所 訪問 ー 将来の自衛隊装備に向けた技術開発の最新状況 ー	① CBRN周辺環境認識技術の研究、無人機技術 ② 陸上装備車両用ハイブリッド動力技術の研究 ③ ハイブリッド動力システム、動力性能試験装置及び16 式機動戦闘車及び展示室見学	陸上装備研究所 無人車両・施設器材システム研究室 機動技術研究部車体・動力研究室	布施 技官 小澤 技官 防衛装備庁 陸上装備研究所 (神奈川県相模原市)
8	2023.1.17.21-31	217	新春特別講演 「今日も今日とてプッシュ&ルーズ」ーモータースポーツ見聞録 ビットリポーターの過去、現在、未来ー	70年代後半からモータースポーツの現場で取材をする中で得た様々な経験、思い出に残る人、ジャーナリストとして大切にしていることなどについて講演	日本モータースポーツ記者会 会長	高橋 二郎 如水会館 (東京都千代田区) オンライン (ライブ&オンデマンド配信)
9	2.22.3.20-4.9	40	インホイールモーターEVの動向 ー インホイールモーターの技術動向と普及に向けた課題解決への取り組み ー	① インホイールモーターの開発と将来性 ② 安全性・快適性・航続距離を向上させる電気自動車の自動運転・制御技術とワイヤレスインホイールモーターの開発 ③ ラウンドテーブルディスカッション	(株)e-Gle社長 東京大学 先端エネルギー工学専攻教授	清水 浩 藤本 博志 慶応義塾大学新川崎キャンパス (神奈川県川崎市) オンライン (ライブ&オンデマンド配信)
10	3.3.3.31-4.20	28	サウンドデザインのための音色・音質評価	① 音・聴覚の基礎、音色・音質評価 ② 音のデザインへの応用 ③ 音質評価技術及び事例の紹介 ④ 音質評価ソフトウェアの実習(オンデマンドは実習映像)	日本大学 芸術学部 特任教授、九州大学 名誉教授 (株)小野測器	岩宮 眞一郎 坪山 睦 大越 勝 (株)小野測器 (神奈川県横浜市) オンライン (オンデマンド配信)

853 名

■支部報(高翔)

2022.7.1	支部報「高翔」No78「まわる」発行 女性座談会：「オンラインで廻る女子旅」	自技会本部
2023.1.1	支部報「高翔」No79「すすむ」発行 女性座談会：「理系へ進む」	自技会本部
2023.3.13	関西支部との交流会実施 (支部活動状況、アンケート結果、電子化対応について)	オンライン
2023.3.14	中部支部との交流会実施 (支部活動状況、アンケート結果、電子化対応について)	中部支部(刈谷)

■支部行事案内

メルマガ配信件数：38件

自技会誌技術会通信及び支部HPへの掲載とメルマガ配信により、支部の行事を告知した、

■見学会

No.	実施時期	参加	見学先	見学・ミニ講演概要	講師	実施会場
1	2022.6.23	14	石坂産業(株)	見学: ①リサイクルプラント ②蓄電池・地中熱システム ③森の散策 技術者交流会: SDGsの解決策としての取り組みについて、グループ勉強会実施	宇田川 理恵子	埼玉県入間郡三芳町
2	7.5	24	JARI つくば研究所Jtown 城里テストセンターADAS試験場	見学: つくば研究所 Jtown、城里テストセンター内 HySEF、高速周回路体験、ADAS試験 講演: ADAS試験動向	中谷 有	茨城県つくば市 茨城県東茨城郡城里町
3	7.27	16	日本メクトロン(株) 牛久事業場	見学: FPCの製造、及び部品実装の工程 講演: ①FPCサイズの変遷 ②伸縮FPCの紹介	大山 良知 岩瀬 雅之	茨城県牛久
4	9.16	25	銚子電鉄(株)	見学: 竹本社長が自ら運転する自技会関東支部専用列車「シニア・モーター・カー号」を運行し、銚子駅と外川駅間の往復ルートで乗車体験 講演: 銚子電鉄(株)社長の講演	竹本 勝紀	千葉県銚子市
5	10.6	28	ANA Blue Base & Blue Hanga	見学: Blue Base(ANAの訓練・教育・研修施設)及びBlue Hangar(航空機の格納庫) 講演: 技術講話	全日本空輸株式会社スタッフ	東京都大田区
6	10.21	20	ボルシェ・エクスプレランスセンター東京	見学: デモンストレーションラップ体験、館内見学ツアー、シミュレータ・ラボ体験 講演: PECプレゼンテーション	動画放映	千葉県木更津市
7	11.4	11	石坂産業(株) 入会キャンペーン対象者限定企画	見学: 全天候型独立総合リサイクルプラント、森の散策 技術者交流会: グループディスカッションによる自分たちの考えるSDGsの取り組み議論 夕食懇親会 (COVID-19感染対策をとった上で屋外にて実施)	宇田川 理恵子 中村 このみ	埼玉県入間郡三芳町
8	12.1- 2023.1.31	223	銚子電鉄見学会オンデマンド	2022年9月16日(金)に現地で開催した見学会の様子を収録したものをオンデマンド配信。 現地で参加できなかった会員の皆様も、その場にいるような臨場感あふれるコンテンツを制作致しました。	竹本 勝紀	オンライン(オンデマンド配信)
9	1.27	24	(株)明電舎太田事業所	見学: ドライブレインシステム等を開発する研究開発棟、制御装置、操作計測盤の製造現場 講演: ダイナモメータの基本と電動化に向けた試験装置紹介	七嵐 沢朗	群馬県太田市
10	2.2	19	JFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉地区)	見学: 高級薄鋼板製造を主体とする工場の、製鋼工場と熱延工場 講演: 自動車軽量化に貢献するJFEの超高強度鋼板と適用技術	金子 真次郎	千葉県千葉市
11	2.24	19	堀場製作所びわこ工場 関西支部/関東支部共催	見学: 特別にガス分析計の製造現場。電動化に向けたバッテリー/燃料電池の評価試験現場・最新ラボ設備 講演: xEV開発に貢献するHORIBAの取り組み	鶴見 和也	滋賀県大津市
12	3.17	15	積水ハウス	見学: 資源循環センター、Tomorrow's Life Museum 講演: 積水ハウスの先進技術紹介(技術講演動画視聴)	田中 晋	茨城県古河市
13	3.23	20	国立大学法人東京工業大学 超スマート社会教育研究フィールド	見学: 複数の小型自動走行ロボットによる配送最適化技術のデモンストレーション 講演: 東工大のスマートモビリティ教育研究フィールドを活用した人材育成と研究開発の取り組み	阪口 啓	東京都目黒区

458 名

■社会活動

No.	実施時期	参加	行事名	テーマ・会場	講師	実施地
1	2022.5.21	19	小学生くるま未来体験教室	座学、ぶつからないくるまレゴキット製作、自動ブレーキ・自動駐車・アラウンドビューモニター試乗会 会場: 新潟工業短期大学	社会活動担当理事他	栃木県宇都宮市
2	7.29-30	90	キッズエンジニア2022	座学、ぶつからないくるまレゴキット製作 会場: パシフィコ横浜	社会活動担当理事他	神奈川県横浜市
3	8.27-28	-	エコ1チャレンジカップ	中学生・高校生を対象とした「バッテリーカーコンテスト」 会場: 東急自動車学校/オンライン(表彰式・講演会)	社会活動担当理事他	多摩市/オンライン
4	9.18		【開催中止】 小学生くるま未来体験教室	座学、FCV+ぶつからないくるまレゴキット製作、自動ブレーキ・自動駐車・アラウンドビューモニター試乗会 会場: 新潟工業短期大学	社会活動担当理事他	新潟県新潟市
5	10.15	40	北海道・関東支部共同企画 小学生くるま未来体験教室	座学、ぶつからないくるまレゴキット製作、車両見学 講演: 札幌市エレクトロニクスセンター	北海道支部理事	北海道札幌市
6	11	107	明日へのテクノロジーセミナー(後援)	講演テーマ: だから成功体験を後輩たちに残したい -初代N-BOXを創った男がFIで闘った理由- 会場: 新潟工業短期大学	浅木 泰昭(本田レーシング) 社会活動担当理事他	新潟県新潟市

147 名

■学生活動

No.	実施時期	行事名	会場	備考
1	2022.11	【開催中止】 国際交流事業 (日本学生を台湾へ派遣)	自動車メーカー、自動車部品メーカー、研究機関などの訪問	
2	2023. 3	【開催中止】 国際交流事業 (日本学生をタイへ派遣)	自動車メーカー、自動車部品メーカー、研究機関などの訪問	
3	3.8-13	国際交流事業 タイから受入	学自研メンバー(主に学生F)とフォーミュラマシンを題材に自動車技術の意見交換を実施 商用車の歴史や技術を見学するためのいすゞプラザを訪問 日産グローバル本社ギャラリーを見学	
4	3. 9	学術研究講演会	ハイブリッド開催(日本大学理工学部) 特別講演(オンラインでも配信) テーマ:『航空界の変革をリードするAAM/eVTOL(所謂「空飛ぶクルマ」)』 講師: 奥田 章順氏(公財)航空機国際共同開発促進基金理事 /株式会社 航想研 代表取締役	口頭発表102件(内オンライン20件)。ポスター発表と「技術展示」は、中止。参加者約190名。 *学生功労表彰式は、特別講演会後に学術研究講演会実行委員長からの受賞者紹介に続いて表彰を行った。当日会場に参加できなかった受賞者には後日、表彰楯及び記念品を郵送した。 【関東支部学生活動功労賞】2名 【学自研功労賞】2名

■試走会WG

No.	実施時期	行事名	テーマ	会場
1	2022.4	【開催中止】 学自研交流会	活動の振り返りと年度計画の共有	-
2	2022.4.30	技術交流会	静的審査基礎講座、年間計画の共有	オンライン
3	5.14	支部試走会	本大会に準じるコースでの学生運営試走会	小笠山総合運動公園(エコパ)
4	6.4	F-SAEチャレンジ講座基礎編	学生フォーミュラ活動の経験談	オンライン
5	6.18	【ハイブリッド】 学生フォーミュラ設計講座	サスペンション設計	神奈川工科大学+オンライン
6	7.23-24	支部試走会	本大会に準じるコースでの学生運営試走会	小笠山総合運動公園(エコパ)
7	8.8-11	支部合同車検会・試走会	大会スタッフによる車検および本大会に準じるコースでの試走会	小笠山総合運動公園(エコパ)
8	10.8	支部試走会	本大会に準じるコースでの学生運営試走会	小笠山総合運動公園(エコパ)
9	11.19	Solid Works講習会	構造解析講習会	オンライン
10	11.26	【ハイブリッド】 Solid Works講習会	流体解析講習会	(神奈川工科大学) オンライン開催
11	12.3	【開催中止】 Solid Works講習会	3DCAD基礎講習会	日本大学+オンライン
12	12.2	EV基礎講座	バッテリーの扱い方、EV設計ポイント	オンライン
13	12.2	EV技術交流会	EVチーム車両紹介	オンライン
14	12.17	【ハイブリッド】 ダンパー講座	ダンパー基礎講座、ダンパー評価実施	早稲田大学+オンライン
15	12.10	EV試走会	本大会に準じるコースでの試走会	小笠山総合運動公園(エコパ)
16	2.3	【開催延期】 Inspire講習会	最適設計講習会	オンライン
17	2	【開催中止】 溶接講座・制御講座	-	-

■学生自動車研究会(企画イベント)

No.	実施時期	参加	イベント名	実施会場
1	2022.4.23	-	学自研大会(参加)	オンライン会議
2	-	-	【開催なし】陸上自衛隊富士総合火力演習見学会	静岡県御殿場市(東富士演習場)
2	11.13	18	カート講習会	東京都足立区City Kart
3	12.20	4	安全運転講習	コヤマドライビングスクール
4	2023.3.2	9	四輪研修	トヨタ交通安全センター・モビリティ(富士スピードウェイ内)
5	-	-	【開催中止】リョービ見学会	-

31名

■特別見学会

『東京工科大学自動車学校オンデマンド見学会』

2023.2.6~3.31 オンライン

聴講者:165名

■市民講座

キッズエンジニア 2022 展示プログラム実施  
2022.7.29~30 パシフィコ横浜

参加者:400名

モータースポーツジャパン 展示プログラム実施  
2022.11.19~20 お台場特設会場青海地区

参加者:150名

キッズエンジニア in 東北 展示プログラム実施  
2022.11.23 スリーエム仙台市科学館

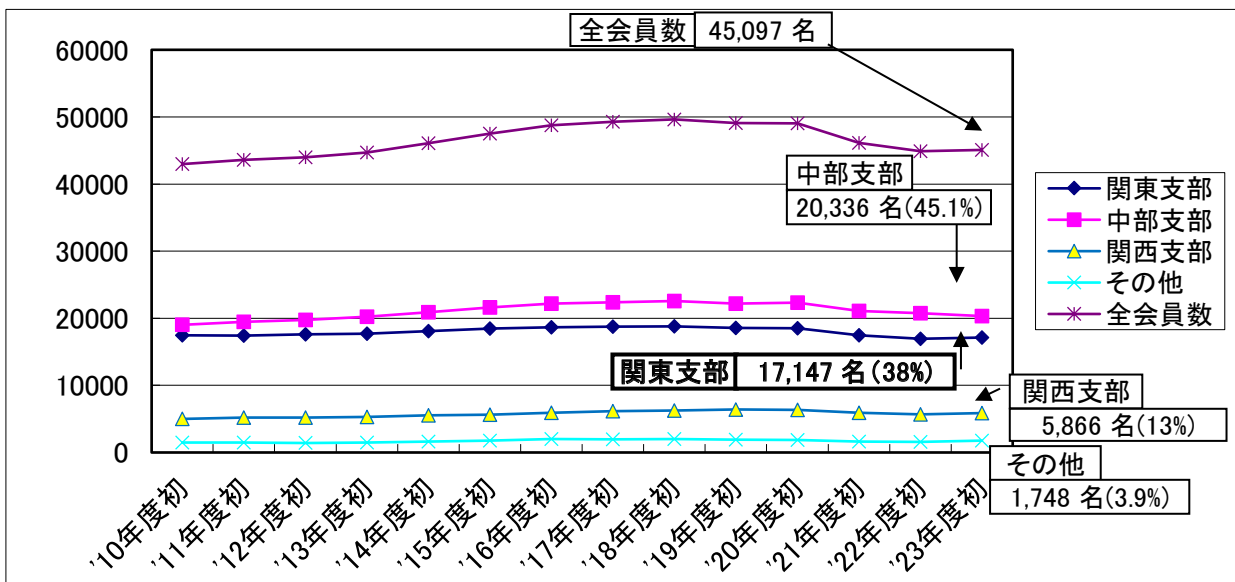
参加者:250名

# < 会員の状況 >

自動車技術会の個人会員は、2023年4月1日現在45,097名で、このうち、関東支部会員は17,147名で

## 1.1 個人会員

支部名	名誉会員		正会員		学生会員		合計		22年度 増減
	22年度 初め	23年度 初め	22年度 初め	23年度 初め	22年度 初め	23年度 初め	22年度 初め	23年度 初め	
北海道	1	1	169	200	25	45	195	246	51
東北	0	0	324	351	76	106	400	457	57
<b>関東</b>	<b>32</b>	<b>32</b>	<b>16321</b>	<b>16390</b>	<b>590</b>	<b>725</b>	<b>16943</b>	<b>17147</b>	<b>204</b>
中部	11	9	20471	20033	258	294	20740	20336	-404
関西	4	4	5356	5513	299	349	5659	5866	207
九州	2	2	707	742	78	114	787	858	71
(海外)	0	0	180	157	6	30	186	187	1
合計	50	48	43528	43386	1332	1663	44910	45097	187



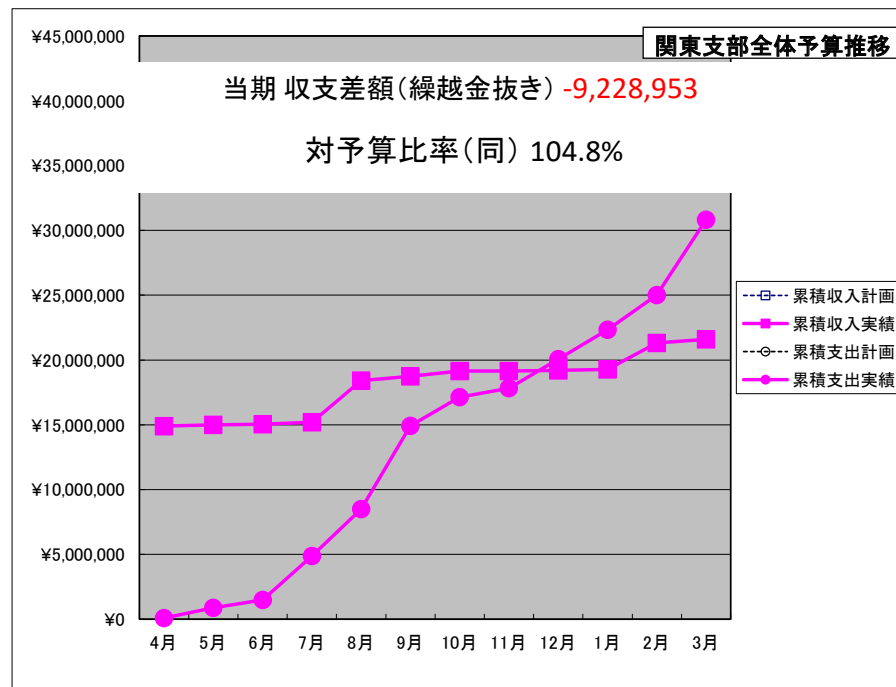
## 1.2 賛助会員(団体数)

支部別	北海道	東北	関東	中部	関西	九州	海外	合計
2023年度初め	1	4	<b>483</b>	154	85	11	5	743
2022年度初め	1	4	<b>459</b>	150	81	11	5	711
増減	0	0	<b>24</b>	4	4	0	0	32

# 2022年度収支報告書(2023年3月末)

2023年4月21日

勘定科目	予算	実績(3/末)	差額 (予算-実績)	備考
<b>【収入の部】</b>				
①-1本部交付金収入	14,827,000	14,900,000	-73,000	単位:円
・人員費&固定費	9,327,000	9,327,000	0	
①-2本部特別交付金収入	3,500,000	3,573,000	-73,000	
①-3中高生プログラム補助交付金	2,000,000	2,000,000		
②支部事業収入	6,300,000	6,691,583	-391,583	
・総会・懇談会	200,000	0	200,000	
・役員会	100,000	0	100,000	役員会、理事会参加費
・総務	30,000	0	30,000	
・講演講習会	450,000	958,185	-508,185	参加登録費
・見学会	100,000	460,002	-360,002	参加登録費
・市民公開講座(社会活動)	300,000	327,276	-27,276	参加登録費
・支部報刊行(広告収入)	4,000,000	3,768,800	231,200	広告収入
・刊行物出版	0	0	0	
・学生活動支援	220,000	0	220,000	参加登録費
・学自研事業	200,000	75,455	124,545	参加登録費
・フォーミュラ活動支援	700,000	920,000	-220,000	試走会参加登録費
・表彰、会員関連	0	0	0	
・共通管理費(事務局)	0	181,865	-181,865	
③寄付金	0	0	0	
④雑収入(利息)	0	0	0	
当期収入合計	21,127,000	21,591,583	-464,583	
前期繰越金	11,511,999	11,511,999	0	対予算比率
収入合計	32,638,999	33,103,582	-464,583	101.4%



<b>【支出の部】</b>				
①支部事業支出	28,868,000	30,820,536	-1,952,536	
・総会・懇談会	3,646,000	4,127,770	-481,770	
・役員会	1,511,000	255,432	1,255,568	
・総務	100,000	30,830	69,170	
・講演講習会	4,551,000	3,726,894	824,106	
・見学会	3,165,000	5,057,158	-1,892,158	
・市民公開講座(社会活動)	2,995,000	3,951,925	-956,925	
・支部報刊行	4,230,000	4,102,591	127,409	
・刊行物出版	0	0	0	
・学生活動支援	2,960,000	617,792	2,342,208	
・学自研事業	540,000	357,674	182,326	
・フォーミュラ活動支援	3,080,000	5,249,701	-2,169,701	
・表彰、会員関連	500,000	427,910	72,090	
・共通管理費(事務局)	1,590,000	2,914,859	-1,324,859	
②予備費	11,511,999		11,511,999	
当期支出合計	40,379,999	30,820,536	9,559,463	対予算比率
収支差額	-7,741,000	2,283,046		収入合計-当期支出合計
次期繰越金				

## <2023年3月末時点の全体概要>

収入・・・ 当期収入合計 21,591,583 円  
 前期繰越金 11,511,999 円  
 収入合計 33,103,582 円 (対予算 101.4%)・・・①

支出・・・ 当期支出合計 30,820,536 円 (対予算 76.3%)・・・②

# 監査報告

2022年度業務及び会計の監査を2023年4月6日に行った結果、いずれも適正かつ正確であり、業務の処理も宜しきを得ていると認めましたことを報告いたします。

2023年4月6日

監査役 加藤 幹夫





# 監査報告

2022年度業務及び会計の監査を2023年4月6日に行った結果、いずれも適正かつ正確であり、業務の処理も宜しきを得ていると認めましたことを報告いたします。

2023年4月6日

監査役 立川 俊洋



## 報告2.

### 2023 年度事業計画の件

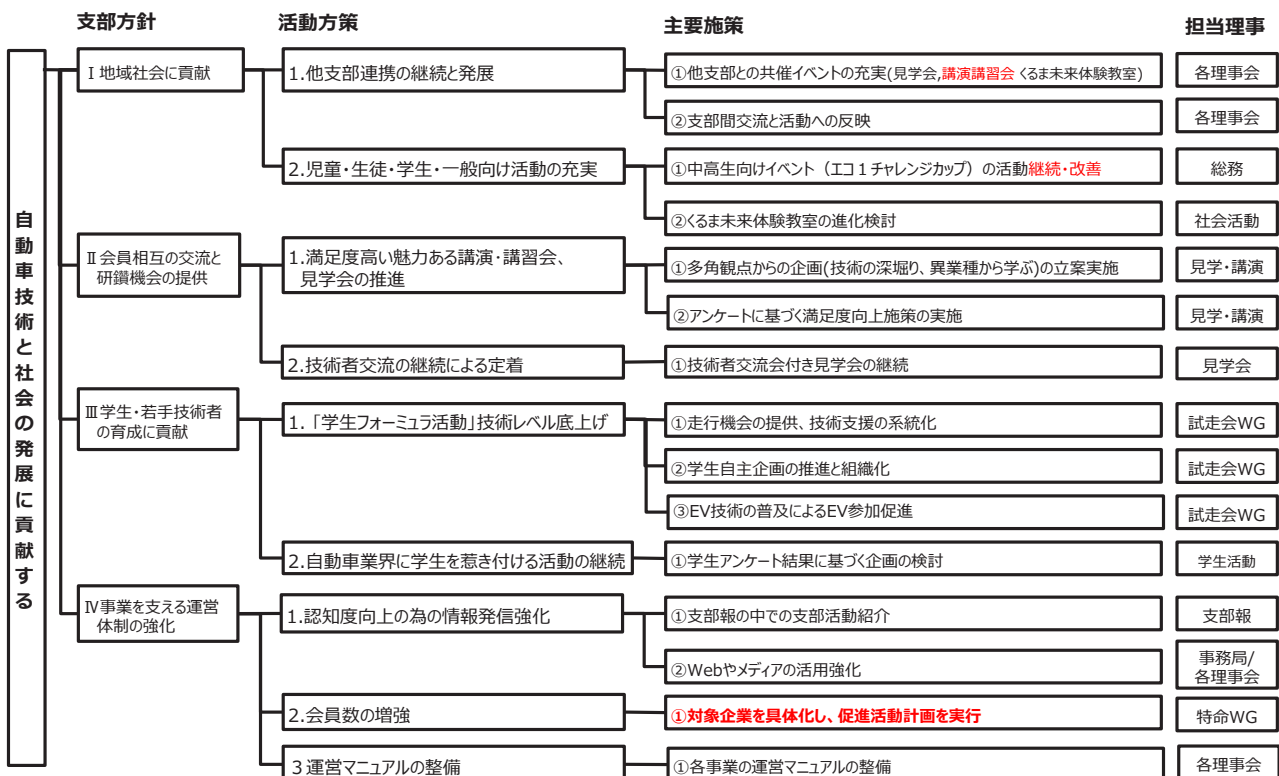
目的：自動車技術と社会の発展に貢献する  
支部方針

- I. 地域社会に貢献
- II. 会員相互の交流と研鑽機会の提供
- III. 学生・若手技術者の育成に貢献
- IV. 事業を支える運営体制の強化

活動方策

1. 他支部連携の継続と発展
2. 児童・生徒・学生・一般向け活動の充実
3. 満足度高い魅力ある講演・講習会、見学会の推進
4. 技術者交流の継続による定着
5. 「学生フォーミュラ活動」の技術レベル底上げ
6. 自動車業界に学生を惹き付ける活動の検討継続
7. 認知度向上の為の情報発信強化
8. 会員数の増強
9. 運営マニュアルの整備

2023年度支部方針実現に向けた系統図



<p><b>‘22年度 重点施策</b></p> <p>1. ECO1 チャレンジカップの活動強化                  ・現地開催：3者共催体、ライブ配信                  ・リモートマッチ：魅力度向上                  ・技術的支援：講習会、シミュレータ体験</p> <p>2. 会員数の増強                  ・本部入会キャンペーン連携                  ・自技会講座、催事参加促進、                  ・新技術領域への拡大状況把握</p> <p>3. 運営マニュアルの整備                  ・各事業の運営マニュアルの継続的整備</p>	<p><b>‘23年度 方針</b></p> <p>1. 事業を支える運営体制の強化                  1) 会員数の増強（既加入者の維持、賛助会員の拡大、新技術領域への拡大）                  2) 運営マニュアルの整備（電子決済導入）</p> <p>2. 地域社会に貢献                  ・児童・学生・一般向け活動の充実</p>																																																																									
<p><b>‘22年度 活動実績</b></p> <p>1. ECO1 チャレンジカップの活動強化                  2022年度実施報告済</p> <p>2. 会員数の増強                  2022年度実績報告済 キャンペーン利用者                  918名（企業459名、学生459名）                  賛助企業、新技術領域への拡大活動未実施</p> <p>3. 運営マニュアルの整備                  ・各事業の運営マニュアルの継続的整備                  実績：学生F合同試走会事務局業務</p>	<p><b>‘23年度 重点施策</b></p> <p>1. 事業を支える運営体制の強化                  1) 会員数の増強                  既加入者の維持：本部キャンペーン利用者限定イベントの強化                  賛助会員拡大：優先取組部品メーカーを選定し、協力要請活動実施                  新技術領域拡大：優先取組企業を選定とPR実行                  2) 運営マニュアルの整備                  電子決済導入トライアル、（#1オンラインセミナー、#2現地開催）→業務処理手順化</p> <p>2. 地域社会に貢献 ECO1 チャレンジカップの活動強化                  2023年度より、事業の対応を社会活動担当理事会から総務担当理事会に移動する。併せて理事体制補強を実施する</p>																																																																									
<p><b>‘22年度 課題</b></p> <p>・ECO1チャレンジカップ運営、社会活動理事会とのすみわけ不明確</p> <p>・会員増強の計画的実行</p> <p>・新技術領域拡大計画未実施</p> <p>・電子決済導入</p>	<p><b>‘22年度 展開計画</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2022</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>2023</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td colspan="14">本部加入キャンペーン</td> </tr> <tr> <td colspan="3">優先企業選定 3か年計画</td> <td colspan="2">▽限定行事</td> <td colspan="6">企業訪問活動</td> <td colspan="3">▽限定行事</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トライアル#1</td> <td colspan="2">トライアル#2</td> <td colspan="2">拡大実施</td> <td colspan="2">業務処理基準</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="2">▽12 打合せ</td> <td colspan="2">▽ 開催案内</td> <td colspan="2">▽ 実施要項</td> <td colspan="2">▽27,28 大会</td> <td colspan="2">振り返り</td> <td colspan="4">次年度検討</td> </tr> </tbody> </table>		2022	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2023	1	2	3	1	本部加入キャンペーン														優先企業選定 3か年計画			▽限定行事		企業訪問活動						▽限定行事			トライアル#1		トライアル#2		拡大実施		業務処理基準								2	▽12 打合せ		▽ 開催案内		▽ 実施要項		▽27,28 大会		振り返り		次年度検討			
	2022	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2023	1	2	3																																																												
1	本部加入キャンペーン																																																																									
	優先企業選定 3か年計画			▽限定行事		企業訪問活動						▽限定行事																																																														
	トライアル#1		トライアル#2		拡大実施		業務処理基準																																																																			
2	▽12 打合せ		▽ 開催案内		▽ 実施要項		▽27,28 大会		振り返り		次年度検討																																																															

2023年度 総務担当理事会体制

	氏名	担当
主担当	飯高 敏	全体統括・支部長補佐
副担当（公益）	阿部 和彦	特命事業・社会活動・学生活動・学F
副担当（収益）	藤川 忠弘	特命事業・講演講習会・見学会・支部報
	岡部 顕史	学生活動
	倉橋 秀範	社会活動
	渋谷 弘之	支部報
	野田 淑子	見学会
	本田 康裕	試走会WG
	柳井 達美	支部報
	渡部 寿	講演講習会
	黒地 英樹	全体統括補佐

- 主担当理事の補佐として副担当理事2名を置く
- 担当範囲は記載の通りとし、横断的なサポート役として活動

## 2023年度支部事業方針と重点施策

## 講演・講習会活動

<h3>'22年度 重点施策</h3> <ol style="list-style-type: none"> <li>次世代自動車に関する技術動向にスポットを当てた講演会の実施</li> <li>「くるまづくりを支える様々な技術に関して、基盤技術から最新動向まで、視野を広げた企画」（各テーマ講師には、可能な限り競争優位性/課題についても論じていただく）</li> <li>異分野異業種等からの講演 ・「防衛装備庁の先進技術」他</li> <li>従来の対面型/都市部開催に加え、Webでの開催、地方開催などの定着化と課題解決</li> </ol>	<h3>'23年度 方針(案)</h3> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>企画方針</b> 「関東支部ならではの特色ある講演・講習会」を企画する。</li> <li><b>運営方針</b> ・「専門的、技術的」、「先進的、広範」、「異業種、温故知新」のテーマをバランスよく配分する。 ・対面型を中心に企画し、オンラインとオンデマンドを活用してイベント参加を容易にする。 ・他支部との共催、他事業との共催を進める。</li> </ol>																																																
<h3>'22年度 活動実績</h3> <ol style="list-style-type: none"> <li>感染防止ガイドラインにそった対面イベント開催「次世代IT基盤技術」、「総会特別講演」、「JARI見学会」、「車両運動制御」、「振動基礎」、「産総研福島」、「陸上装備研究所」、「理事会特別講演」、「音質評価」の計9イベントを対面で開催した。</li> <li>オンラインおよびオンデマンドによるイベント開催「CNの取組」、「次世代IT基盤技術」、「総会特別講演」、「車両運動制御」、「振動基礎」、「産総研福島」、「音質評価」の計7イベントをWebで開催。</li> <li>見学会、東北支部との合同イベント開催「JARI見学会」を見学会、「産総研福島」を東北支部と初の合同イベントとして開催した。</li> <li>担当理事会を4回/年開催</li> </ol>	<h3>'23年度 重点施策(案)</h3> <ol style="list-style-type: none"> <li>カーボンニュートラルや次世代モビリティの技術動向(先進技術の概要、市場・業界動向)に関する講演会の開催</li> <li>専門的、技術的な自動車技術の講演・講習会の開催</li> <li>異分野、異業種等の講演会開催：「防衛装備庁の先進技術」他</li> <li>Web開催の定着化と課題解決(ライブとオンデマンドの使い分け、有料化、アンケート回答率など)</li> <li>地方開催・他支部合同イベントの継続</li> </ol>																																																
<h3>'22年度 課題</h3> <ol style="list-style-type: none"> <li>イベント開催形態(対面型/Web型)の更なる検討と整理、そして定着化</li> <li>他支部(東北)とのコラボイベント実現に向けた検討</li> </ol>	<p style="text-align: right;">★ Web開催</p> <h3>2023年 '23年度展開計画(案) 2024年</h3> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>総会特別講演会</td><td>コーニング 排ガス後処理</td><td>講習会 モード解析</td><td></td><td>準天頂衛星システム</td><td></td><td>次世代モビリティ 群馬大学</td><td>宮城産業技術総合センター</td><td>車両運動制御 神奈川工科大学</td><td>カーボンニュートラル燃料・水素</td><td>空飛ぶクルマ</td><td>艦艇装備研究所</td><td>理学会特別講演会</td><td>電動マイクロモビリティ</td><td>カーボンニュートラルの動向</td><td>二輪の先進安全技術</td><td>講習会 音色・音質評価</td> </tr> <tr> <td></td><td>★</td><td>★</td><td>★</td><td></td><td></td><td></td><td>★</td><td>★</td><td></td><td></td><td>★</td><td></td><td>★</td><td>★</td><td></td><td></td><td>★</td> </tr> </tbody> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		総会特別講演会	コーニング 排ガス後処理	講習会 モード解析		準天頂衛星システム		次世代モビリティ 群馬大学	宮城産業技術総合センター	車両運動制御 神奈川工科大学	カーボンニュートラル燃料・水素	空飛ぶクルマ	艦艇装備研究所	理学会特別講演会	電動マイクロモビリティ	カーボンニュートラルの動向	二輪の先進安全技術	講習会 音色・音質評価		★	★	★				★	★			★		★	★			★
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																						
	総会特別講演会	コーニング 排ガス後処理	講習会 モード解析		準天頂衛星システム		次世代モビリティ 群馬大学	宮城産業技術総合センター	車両運動制御 神奈川工科大学	カーボンニュートラル燃料・水素	空飛ぶクルマ	艦艇装備研究所	理学会特別講演会	電動マイクロモビリティ	カーボンニュートラルの動向	二輪の先進安全技術	講習会 音色・音質評価																																
	★	★	★				★	★			★		★	★			★																																

## 2022年度支部事業方針と重点施策

## 講演・講習会活動

<h3>'21年度 重点施策</h3> <ol style="list-style-type: none"> <li>「自動運転」、「ICT」、「電動化」等次世代自動車に関する技術動向にスポットを当てた講演会の実施。</li> <li>「内燃機関(SIP燃焼研究)」開発関連から「車両運動制御」など最新の技術動向や基盤技術まで、視野を広げた企画。</li> <li>異分野異業種等からの講演 ・「防衛装備庁の先進技術」他</li> </ol>	<h3>'22年度 方針</h3> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>企画方針</b> 「幅広い層の会員に対し、より満足度の高い魅力ある講演・講習会」を実施</li> <li><b>運営方針</b> ・次世代自動車に関する技術動向を中心に、それらを支える基盤技術/要素技術にも焦点を当てる ・フレキシブルに講演講習テーマを異業種、産学官等の広範な技術分野から設定する ・対面型とWebとのすみ分け(特色の活かし方)、および他支部会員への公開を考慮しながら現場課題も含めた短時間での対応</li> </ol>																																				
<h3>'21年度 活動実績</h3> <ol style="list-style-type: none"> <li>Web講演会・講習会を依頼先の要望に応じてライブ配信、オンデマンド配信とを使い分け、年6回実施。(本部メルマガによる初の全国展開も行う)「次世代IT基盤技術(対面+Web)」と「車両運動制御」は、まん延防止措置のため22年度に延期。「3Dプリンティング」、「防衛装備庁次世代装備研究所」、「次世代モビリティの社会実装」講演は対面にて開催。「サウンドデザイン」はWeb(オンデマンド)にて実施。</li> <li>支部アンケート結果から見える従来(2012年～)からの課題である地方での講演会の実施&lt;3Dプリンティング、次世代モビリティの社会実装&gt;、直近の課題である対面型とWeb型のすみ分けを行い新たな価値を提供。</li> <li>担当理事会をWeb会議で3回/年実施。</li> </ol>	<h3>'22年度 重点施策</h3> <ol style="list-style-type: none"> <li>次世代自動車に関する技術動向にスポットを当てた講演会の実施</li> <li>「くるまづくりを支える様々な技術に関して、基盤技術から最新動向まで、視野を広げた企画」（各テーマ講師には、可能な限り競争優位性/課題についても論じていただく）</li> <li>異分野異業種等からの講演 ・「防衛装備庁の先進技術」他</li> <li>従来の対面型/都市部開催に加え、Webでの開催、地方開催などの定着化と課題解決</li> </ol>																																				
<h3>'21年度 課題</h3> <ol style="list-style-type: none"> <li>イベント開催形態(対面型/Web型)の更なる検討と整理、そして定着化</li> <li>他支部(東北)とのコラボイベント実現に向けた検討</li> </ol>	<p style="text-align: right;">★ Webを予定もしくは追加</p> <h3>2022年 '22年度展開計画 2023年</h3> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CNに向けたホツユの取り組み事例</td><td>日立横浜研究所 II技術講演会</td><td>総会特別講演会</td><td>JARI見学会</td><td>車両運動制御の飛躍 神奈工大</td><td>講習会 振動基礎</td><td>産総研(東北支部との合同講演会)</td><td></td><td>防衛装備庁陸上装備研究所講演会</td><td>理学会特別講演会</td><td>インホイールモーターEV講演会</td><td>講習会 音色・音質評価</td> </tr> <tr> <td>★</td><td>★</td><td>★</td><td></td><td>★</td><td>★</td><td>★</td><td></td><td></td><td>★</td><td>★</td><td>★</td> </tr> </tbody> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	CNに向けたホツユの取り組み事例	日立横浜研究所 II技術講演会	総会特別講演会	JARI見学会	車両運動制御の飛躍 神奈工大	講習会 振動基礎	産総研(東北支部との合同講演会)		防衛装備庁陸上装備研究所講演会	理学会特別講演会	インホイールモーターEV講演会	講習会 音色・音質評価	★	★	★		★	★	★			★	★	★
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																										
CNに向けたホツユの取り組み事例	日立横浜研究所 II技術講演会	総会特別講演会	JARI見学会	車両運動制御の飛躍 神奈工大	講習会 振動基礎	産総研(東北支部との合同講演会)		防衛装備庁陸上装備研究所講演会	理学会特別講演会	インホイールモーターEV講演会	講習会 音色・音質評価																										
★	★	★		★	★	★			★	★	★																										

<p><b>‘22年度 重点施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Withコロナでの見学会の実践</li> <li>■ リモート見学会の付加価値創造</li> </ul> <p>【継続する重点施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 他支部と連携した見学会の継続実施</li> <li>② 技術者交流会の運営改善と標準化</li> <li>③ 参加者の期待を超える企画と運営の改善</li> </ol>	<p><b>‘23年度 方針</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「新たな発見を提供できる見学会」の企画</li> <li>2. 「新しい視点、新しい感覚を吸収できる見学会」の運営 ⇒ テーマは「 継続と変革 」</li> </ol>																																																																	
<p><b>‘22年度 活動実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Withコロナでの見学会行事を遂行。</li> <li>● リモート見学会（オンデマンド配信）完了。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 他支部（関西支部）との合同開催完了</li> <li>② 若手交流会企画としての実践（11月）</li> <li>③ 参加者の期待を超える取り組み コロナ禍において参加者の高評価を維持。一方、参加枠制限により、参加できないとの声もあり。</li> </ol>	<p><b>‘23年度 重点施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ アフターコロナでの見学会の実践と改善</li> </ul> <p>⇒ 見学会再開企業へのアプローチ継続、多数応募を見込む見学会の定員改善</p> <p>【継続する重点施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 参加者の期待を超える企画と運営の改善</li> <li>② 技術者交流会の運営改善と標準化</li> <li>③ 他支部との連携（他支部との共催イベントの継続実施）</li> </ol>																																																																	
<p><b>‘22年度 課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・COVID-19対応ガイドラインの適切な運用</li> <li>・リモート見学会への新たなアプローチは、コロナ対策としての代替手段に留めず、付加価値の追求へシフトして継続</li> <li>・他支部との連携強化</li> </ul>	<p><b>‘23年度展開計画 実施時期は見学先との調整により決定</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023 4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>2024 1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td>清水建設（木場）、本田（寄居）、日産（追浜）、 日建（山梨）、産総研（つくば）、日本信号（久喜）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td>☆ JR貨物（品川）、 ☆ 京セラ（横浜）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td>☆ 石坂産業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>☆ 石坂産業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> <td>仮）松島基地見学（宮城、東北支部）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		2023 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2024 1	2	3	①			清水建設（木場）、本田（寄居）、日産（追浜）、 日建（山梨）、産総研（つくば）、日本信号（久喜）										②			☆ JR貨物（品川）、 ☆ 京セラ（横浜）										③			☆ 石坂産業					☆ 石坂産業					④			仮）松島基地見学（宮城、東北支部）									
	2023 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2024 1	2	3																																																						
①			清水建設（木場）、本田（寄居）、日産（追浜）、 日建（山梨）、産総研（つくば）、日本信号（久喜）																																																															
②			☆ JR貨物（品川）、 ☆ 京セラ（横浜）																																																															
③			☆ 石坂産業					☆ 石坂産業																																																										
④			仮）松島基地見学（宮城、東北支部）																																																															

## 2022年度見学会一覧

・2022年度は、『創造と想像』をテーマとして、コロナ禍以前の水準である全12回の見学会、技術者交流会を実施することができました。



東工大大岡山 見学会



ボルシェクスピリエンスセンター 見学会



ANA見学会



銚子電鉄 見学会



石坂産業技術者交流会（秋）



日本メトロン 見学会



明電舎太田 見学会



積水ハウス 見学会



JARI 見学会  
（講演講習会合同）



JFEスチール 見学会



堀場製作所 見学会  
（関西支部合同）



石坂産業技術者交流会（春）

ご協力、ご支援ありがとうございました。

**2022年度 重点施策**

1. 電子ブックに特化した誌面レイアウトの工夫により電子版の見やすさ(読み易さ)改善を図る。
2. 電子ブックの特長を活かした誌面作りに注力し、動画ほか各サイトへのリンクを更に充実させ魅力度アップを図る。
3. 支部活動の広報誌として、会員及び各事業体とのコラボレーションを意識して取り組むとともに、他支部とも連携しながら記事づくりをしていることがより読者に伝わるよう工夫する。

**2022年度 活動実績**

支部報「高翔」の刊行  
 第78号、79号(電子版にて刊行済)  
 第80号(2023年7月刊行予定)  
 特集テーマ『はれ』  
 掲載予定記事を執筆/編集  
 支部交流会の開催  
 ⇄中部/関西：'23/3月開催  
 関西/関東支部共催の見学会を取材  
 (80号へ掲載予定)  
 支部報電子版の読み易さ改善

**2022年度 課題**

支部報事業活動における収支改善。

**2023年度 方針**

- 前年度の方針を継続しつつ支部報事業活動全体の品質向上を目指す。
1. Webサイトやメディアを積極的に活用するなど、電子版の特長を活かした記事づくりを推進、及び読者への見せ方を工夫。
  2. 支部活動を紹介する広報誌としての役割を強く意識するとともに継続的な支部間交流による協調関係を維持。

**2023年度 重点施策**

- 以下を重点施策として進める。
1. 電子ブックの特長を活かした誌面作りに注力し、Webサイトやメディアの積極的活用により魅力度アップを図る。
  2. 本部との協調により自技会サイトにおける新刊、既刊(創刊号以降の全巻)の紹介方法を改善。
  3. 支部報事業活動における収支改善活動の推進。
  4. 支部活動の広報誌として、会員及び各事業体とのコラボレーション、及び他支部との連携を意識した記事づくりの推進継続。

**2023年度 展開計画****第80号(特集テーマ:はれ)****掲載予定内容(抜粋)**

記事タイトルは「仮」

**【寄稿】**

- ・雨の日も“車の目”の視界を晴らすヒーター技術  
 ……三恵技研工業 開発本部 開発戦略室 室長 古林宏之氏
- ・日本一の晴れ男・晴れ女のコミュニティが社会に明るい「晴れ」を届ける  
 ……全日本晴れ男晴れ女協会 理事長 榎本昂輔氏
- ・宇宙の晴れ上がり……自然科学研究機構 国立天文台 准教授 縣秀彦氏

**【連載記事】**

- ・私的自動車博物館探訪記：「NTN & SUBARU」
- ・学生フォーミュラ ～我々の挑戦：<千葉大学/横浜国立大学/山梨大学>
- ・座談会：「正しく胸を張れ、気分も晴れる体験教室」  
 ※姿勢調律協会代表理事プロデュースによるsanare (サナーレ) Pilates & Conditioningで開催

**【支部イベントレビュー】**

- ・HORIBA BIWAKO E-HARBOR -社是「おもしろおかしく」のスピリット体现-  
 ※関西/関東支部共催 堀場製作所びわこ工場 見学会

**【特別講演記事】**

- ・今日も今日とてプッシュ&ルーズ……日本モータースポーツ教会 会長 高橋二郎氏

<p><b>'22年度 重点施策</b></p> <p>① 教育支援：地域活動機会を通じて工学教育支援で社会に貢献</p> <p>② 重点活動地域での活動継続、他支部・本部との連携</p> <p>③ 小中高生向けプログラムのレベルアップ(進化検討)</p> <p>*Withコロナでの活動対応</p>	<p><b>'23年度 方針</b></p> <p>①教育支援：各地域の状況に合った工学教育支援を提供 キッズエンジニア、明日へのテクノロジーセミナーを軸に計画</p> <p>②重点活動地域 くるま未来体験教室の継続と支部本部との連携 栃木、新潟および各地区、北海道(札幌)・東北(仙台)支部と本部連携(名古屋)</p> <p>③小中高生向けプログラムのレベルアップと拡大 <b>LEGOキット進化検討強化(画像認識・自動運転など)、Scratch対応</b></p>																																																				
<p><b>'22年度 活動実績</b></p> <p>◎社会活動実績PR：</p> <p>①地域での工学教育支援 ・くるま未来体験教室 計画6回 実施3回 宇都宮5/21 横浜7/ 札幌 10/17</p> <p>②他支部・本部との連携 ・エコ1チャレンジ、オンライン表彰 8/29 ・北海道支部との連携共催(上記)</p> <p>③小中高生向けプログラム進化 ・LEGO Scratch対応20台、進化キット</p>	<p><b>'23年度 重点施策</b></p> <p>①本部、他支部イベント 確認と連携 本部キッズ8/4-5、北海道支部10月、東北支部キッズ11/23</p> <p>②重点地域での活動本格再開 確認と実施 6/3新潟、7/22 宇都宮、各地区確認計画、本部・支部連携実施</p> <p>③プログラム進化検討(画像認識/ETロボコン)、Scratch版 トライアル(5月～)</p>																																																				
<p><b>'22年度 課題</b></p> <p>*プログラム進化対応強化と本格再開</p> <p>①進化検討/トライアル～本格稼働 ・メンバー(事前検討・トライアル) ・開催先(開催合意、実施準備など) ・実施手続き(関係部署ガイドラインなど)</p> <p>②エコ1推進の総務委員会移動など</p>	<p><b>'23年度 展開計画(案)</b> *各地区状況により変化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2022 4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>2023 1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4-5 本部 キッズ</td> <td>29 エコ1</td> <td></td> <td>29 北海道 支部 明日 テク</td> <td>23 東北 キッズ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td>20 ▽ 宇都宮</td> <td>3 ▽ 新潟</td> <td>22 ▽ 宇都宮</td> <td>4-5 ▽ 名古屋</td> <td></td> <td>▽ 札幌</td> <td></td> <td>23 ▽ 仙台</td> <td></td> <td></td> <td>▽ (部内)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>▽ 準備</td> <td>▽ 準備</td> <td>▽ 準備</td> <td></td> <td></td> <td>▽ 準備</td> <td></td> <td>▽ 準備</td> <td>メンテ</td> <td></td> <td>▽ 準備</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		2022 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2023 1	2	3	①					4-5 本部 キッズ	29 エコ1		29 北海道 支部 明日 テク	23 東北 キッズ				②		20 ▽ 宇都宮	3 ▽ 新潟	22 ▽ 宇都宮	4-5 ▽ 名古屋		▽ 札幌		23 ▽ 仙台			▽ (部内)	③	▽ 準備	▽ 準備	▽ 準備			▽ 準備		▽ 準備	メンテ		▽ 準備	
	2022 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2023 1	2	3																																									
①					4-5 本部 キッズ	29 エコ1		29 北海道 支部 明日 テク	23 東北 キッズ																																												
②		20 ▽ 宇都宮	3 ▽ 新潟	22 ▽ 宇都宮	4-5 ▽ 名古屋		▽ 札幌		23 ▽ 仙台			▽ (部内)																																									
③	▽ 準備	▽ 準備	▽ 準備			▽ 準備		▽ 準備	メンテ		▽ 準備																																										

**LEGOキット・プログラム進化 本格検討 2023上期**

- ①Scratch対応：社活全員(主に講師4名：岩崎、倉橋、向井、小椋)
  - ・2021版classroomをiPad4(20台)インストール済  
⇒ ぶつからないウルマのプログラム(scratch版)
  - ・実機検証トライアル(宇都宮大7月)



- ②AI進化対応：向井先生/倉橋・小椋  
画像認識デモ検討(Tensle Flow・Python)  
～トライアル



- ③シミュレーション・ETロボコン：渡辺・倉橋  
ETロボコンチャレンジ・・・



- ④中高生教室進化：岩崎・倉橋  
シラバス検討～日産教室コラボ・・・Artec\_ robo

**【先行導入機器 概要】**

- ①LEGOロボットキット SPIKE\_AI仕様 (ETロボコン)
- ②ノートPC (AI開発、本番デモ、画像シミュレータ)
- ③デモ用機器 Display・PAなど
- ④コラボ参考キット



<p><b>‘22年度 重点施策</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学自研（学生委員会）             <ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン企画の検討(新型コロナ対応企画の検討)</li> </ul> </li> <li>学術研究講演会（ICATYE）             <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム(セッション組み)の検討</li> </ul> </li> <li>国際交流事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナ対応を考慮した交流方法の検討(タイ・台湾SAEとの連携強化)</li> </ul> </li> <li>大学生及び教員を対象とした自動車業界へ惹きつける活動の検討             <ul style="list-style-type: none"> <li>機械工学以外も巻き込んだ「企業の人と触れ合える」施策と、JSAE認知度向上施策の実施を事務局と継続検討</li> </ul> </li> </ol> <p><b>‘22年度 活動実績</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学自研活動             <ul style="list-style-type: none"> <li>学生委員会：12回、学自研大会：4月</li> <li>主な学自研企画イベント：3回</li> </ul> </li> <li>学術研究講演会(3/9)             <ul style="list-style-type: none"> <li>会場：日本大学理工学部(タワースコラ)</li> <li>講演：102件(英語発表9件)</li> <li>参加者数：約190名</li> <li>特別講演会：「航空界の変革をリードするAAM/eVTOL(所謂「空飛ぶクルマ」)」奥田章順様((公財)航空機国際共同開発促進基金 理事/株式会社 航想研 代表取締役)</li> </ul> </li> <li>学生国際交流             <ul style="list-style-type: none"> <li>台湾派遣(11月)中止、タイ派遣(1月)中止</li> <li>海外学生受入れ(3月)中止→ICATYE発表のため来日したタイ学生と交流</li> </ul> </li> </ol> <p><b>‘22年度 課題</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学自研活動引き継ぎ方法</li> <li>国際交流活動のハイブリッド企画検討</li> <li>学術研究講演会のハイブリッド開催の検討</li> </ol>	<p><b>‘23年度 方針</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>企画方針：             <ul style="list-style-type: none"> <li>支部学生活動、学術研究講演会及び国際交流事業の一層の活性化により、明日を担う若手研究者・技術者の育成を図る。</li> </ul> </li> <li>運営方針：             <ul style="list-style-type: none"> <li>学生会員に自動車技術への関心をより深めてもらう。</li> <li>学生自らが主体的に活動できるように支援する。</li> <li>国際交流事業を通して、学生間の国際的技術交流の構築を目指す。</li> </ul> </li> </ol> <p><b>‘23年度 重点施策</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学自研（学生委員会）             <ul style="list-style-type: none"> <li>ハイブリッド開催を考慮した企画の検討</li> </ul> </li> <li>学術研究講演会（ICATYE）             <ul style="list-style-type: none"> <li>ハイブリッド開催を考慮したプログラム(遠方からの参加を考慮)の検討</li> </ul> </li> <li>国際交流事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>ハイブリッド開催を考慮した交流方法の検討(タイ・台湾SAEとの連携強化)</li> </ul> </li> <li>自動車業界に学生を惹き付ける活動の継続             <ul style="list-style-type: none"> <li>機械工学以外も巻き込んだ「企業の人と触れ合える」施策と、JSAE認知度向上施策の実施を事務局と継続検討</li> </ul> </li> </ol> <p><b>‘23年度展開計画</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>☆</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学自研大会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(学自研企画イベント支援)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実行委員会発足</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>CFP発行</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>学術研究講演会</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>☆</td> <td>→</td> <td>☆</td> <td>→</td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>台湾派遣</td> <td></td> <td>タイ派遣</td> <td></td> <td>タイ・台湾受入れ</td> </tr> </tbody> </table>		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	①	☆	←										→		学自研大会						(学自研企画イベント支援)						②			△	→			△	→				☆				実行委員会発足				CFP発行					学術研究講演会	③								☆	→	☆	→	☆									台湾派遣		タイ派遣		タイ・台湾受入れ
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																																
①	☆	←										→																																																																																
	学自研大会						(学自研企画イベント支援)																																																																																					
②			△	→			△	→				☆																																																																																
			実行委員会発足				CFP発行					学術研究講演会																																																																																
③								☆	→	☆	→	☆																																																																																
								台湾派遣		タイ派遣		タイ・台湾受入れ																																																																																

- 学自研活動
  - 学自研大会・参与会1回(4/23), 学生委員会12回(月1回)
  - 学自研企画イベント
    - 実施済：(1)カート講習会(11/13), (2)コヤマドライビングスクール安全運転講習会(12/20), (3)四輪研修(3/2), (4)タイのICATYE参加学生との交流会(3/9-3/10)
    - [補足]陸上自衛隊富士総合火力演習見学(なし), リョービ見学会(中止)
- 学術研究講演会(ICATYE)(申込件数104件)
  - 2023年3月9日(木), 日本大学理工学部(タワースコラ, Teams) 約190名参加
  - 講演数：102件(うち英語発表9件)
  - 特別講演会「航空界の変革をリードするAAM/eVTOL(所謂「空飛ぶクルマ」)」奥田章順様((公財)航空機国際共同開発促進基金 理事/株式会社 航想研 代表取締役)
- 国際交流事業
  - 派遣：台湾派遣(11月)中止, タイ派遣(1月)中止
  - 受入：台湾学生とタイ学生のオンライン交流会(3月)中止→タイから来日した5名の学生は、3/9のICATYEでの研究発表と日・タイ両国学生による自動車技術に関する意見交換会、3/10のいすゞプラザと日産ギャラリーの見学会を通じ日本学生との交流を行った。
  - 国際会議への参加(ICATYEとは別)→中止
- 自動車業界に学生を惹き付ける活動の継続
  - 企画立案を事務局と検討

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①								◎(1)	◎(2)			◎◎(3)(4)
②	◎#1 ◎#2		◎#3	◎#4			◎#5		◎#6		◎#7	☆3/9
③								×◎		×		△
								台湾派遣中止, 国際会議参加		タイ派遣中止		日本受入中止
担当理事会	◎#1 ◎#2		◎#3				◎#4		◎#5		◎#6	

‘22年度 重点施策

- ① 感染対策により参加台数を制限した試走会開催  
車両完成の目標となる試走会の早期開催  
車検と試走会の分離による走行時間の確保
- ② 学生自主企画の支援  
学生委員として学自研活動と連携した企画運営  
技術交流会・走行会の運営サポート
- ③ EV技術交流会と基礎講座の拡充  
企業と連携した講座の展開

‘22年度 活動実績

1. 学生運営支部試走会  
上期 3回、下期 2回実施
2. 合同試走会・模擬車検会  
8/8-8/10 (試走+車検) × 2  
前半14校、後半17校参加
3. 講習会  
・EV技術交流会12/2  
・Solid works講習会11/19,12/3,10  
・ダンパー講習会12/17

‘22年度 課題

- ・動的審査2年間開催されず、大会未経験者がチームの大多数
- ・走行経験がなく、遠征手順など安全管理面での伝承も困難
- ・試走会参加もできず、大会までに車両完成が間に合わない
- ・EVの完走率が極端に低下

‘23年度 方針

1. 企画方針  
・20年を迎える大会を人材育成プログラムとして企業と連携を強化する
2. 運営方針  
・学生の技術交流と自主的な試走会運営を推進  
・他支部・大会運営組織と連携したチーム支援強化

‘23年度 重点施策

- ① 合同試走会  
運営の負荷低減およびレベルアップにむけた模擬車検・走行訓練の両立
- ② 学生運営試走会・技術交流会  
・車両完成のマイルストーンおよび車両評価となる学生運営試走会開催  
・技術交流会の継続をサポート
- ③ 学生自主企画の支援  
・学自研活動と連携した企画運営  
・企業と連携した講座の展開

‘23年度 展開計画

	2023	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2024	1	2	3
①			エコパ試走会		エコパ試走会		エコパ試走会		EV走行会					
②			企画・募集・学生	スタッフ	依頼		合同試走会							
			技術交流会		技術交流会				技術交流会		技術交流会			
③					(ホンダ基礎講座)				(ソリッドワークス講習会)					
				EV製作講座				ダンパー講座		バッテリー講座				

- 学生運営試走会、支部連携
  - 5月14日(土) 神奈川工科大学、富山大学、岐阜大学、福井大学  
神奈川大学(見学)、東京工科大学(見学)
  - 7月23日(土) 京都工芸繊維大学、埼玉大学、東京都立大学
  - 7月24日(日) 日本自動車大学校、トヨタ東京自動車大学校、東京大学、千葉大学、名古屋工業大学  
早稲田大学、工学院大学、愛知工業大学(見学)
- 合同試走会 大会実行委員会・支部連携
  - 8月8日~9日 14チーム(走行・車検各1日)
  - 8月10日~11日 17チーム(走行・車検各1日)
- EV試走会 学生運営、中部支部連携
  - 10/8(土) エコパ 静岡大学、神奈川大学、神奈川工科大
  - 12/10(土) エコパ 名古屋大学、静岡大学、静岡理工科大、神奈川工科大学  
静岡工科大学(見学)、宇都宮大学(見学)
- EV技術交流会 EV推進委員会と共催
  - 12/2(金) オンライン講座 中西様
    - ・バッテリーの扱い方
    - ・EV設計ポイント
    - ・各大学EV車両紹介(FM関東 木俣@神大)
- 設計講座 芝端様(FM関東 渡邊@神工大)
  - 6/18(土) サスペンション設計 @神奈川工科大学
- CAE講習会 Solid works様(FM関東 千葉@日大)
  - 11/19(土) 構造解析講習会 @オンライン 40名参加
  - 12/3(土) 基本操作講習 @日大スコラタワー 60名予定⇒オンライン実施
  - 12/10(土) 流体解析講習会 @神奈川工科大学 20名⇒オンライン開催
- ダンパー講習会 アネブル様(FM関東 鈴木@東大)
  - 12/17(土) 講習会+ダンパー計測 @早稲田大学+オンライン 100名教室
- Inspire最適設計講習会 アルテア様 ⇒Solidworks設計後の解析として23年度実施

## 2023年度 自動車技術会関東支部予算

[概要] 2022年度の活動で過剰な繰越金は消費され、順当な金額することができた  
2023年度は収支均衡の予算として運用する計画とした

区分	費目	2022年度 予算	2022年度末実績 (2023/3月末)	2023年度 予算	特記事項、差異理由	
収入	交付金 (A) (本部から)	①会員数比例分+固定費	9,009,200	9,009,200	9,026,000	2023年3/1会員数予測値(2023.1末時点)に基づき算出 会員×400、新人×300、固定分1,850,000 各数値は100円台を切り上げ 2022年度より特別交付金は実費精算 交付対象は従来通り下記3費目 ①フォーミュラ ②社会活動 ③エコ1チャレンジカップ
		②新入会者還付金	317,100	317,100	502,200	
		①+② (小計)	9,327,000	9,327,000	9,529,000	
	特別交付金 (B) (本部から右記項目にて)		2,900,000	3,573,000	3,500,000	
				2,000,000	2,000,000	
	支部事業 (C)	総会・懇談会	200,000	0	200,000	
		支部役員会	100,000	0	0	
		総務担当	30,000	0	0	
		講演・講習会	450,000	958,185	1,100,000	
		見学会	100,000	460,002	350,000	
		支部報	4,000,000	3,768,800	4,000,000	
		刊行物	0	0	0	
		社会活動	300,000	327,276	300,000	
		学生活動	220,000	0	100,000	
支部学自研		200,000	75,455	200,000		
ものづくり活動支援(試走会)		700,000	920,000	900,000		
会員		0	0	0		
共通(事務局)		0	181,865	0		
	(小計)	6,300,000	6,691,583	7,150,000		
雑収入 (D)		0	0	0		
	収入合計 (A)+(B)+(C)+(D)	18,527,000	21,591,583	22,179,000		
繰越金 (E)	前期からの繰越	11,511,999	11,511,999			
	繰越金まで含めた総合計 (F) (A)+(B)+(C)+(D)+(E)	30,038,999	33,103,582	22,179,000		
支出	支部事業支出	総会・懇談会	3,646,000	4,127,770	2,870,000	
		支部役員会	1,511,000	255,432	402,000	
		総務担当	100,000	30,830	81,000	
		講演・講習会	4,551,000	3,726,894	2,722,000	
		見学会	3,165,000	5,057,158	1,487,000	
		支部報	4,230,000	4,102,591	4,010,000	
		刊行物	0	0	0	
		社会活動	2,995,000	3,951,925	4,125,000	
		学生活動	2,960,000	617,792	740,000	
		支部学自研	540,000	357,674	547,000	
		学生フォーミュラ活動支援	3,080,000	5,249,701	3,415,000	
		表彰・会員関連	500,000	427,910	480,000	
		共通(事務局)	1,590,000	2,914,859	1,900,000	
		(小計)	28,868,000	30,820,536	22,779,000	
予備費		11,511,999		2,283,046		
	予備費まで含めた支出計 (G)	40,379,999	30,820,536	25,062,046		
当期収支差額	(F)-(G)		2,283,046			
			2023年度へ繰越			

# 2023年度自動車技術会 関東支部活動計画(案)

日付の確定していないイベントは検討中、或いは調整中です。  
予告無く変更する場合があります。

5/12/2023

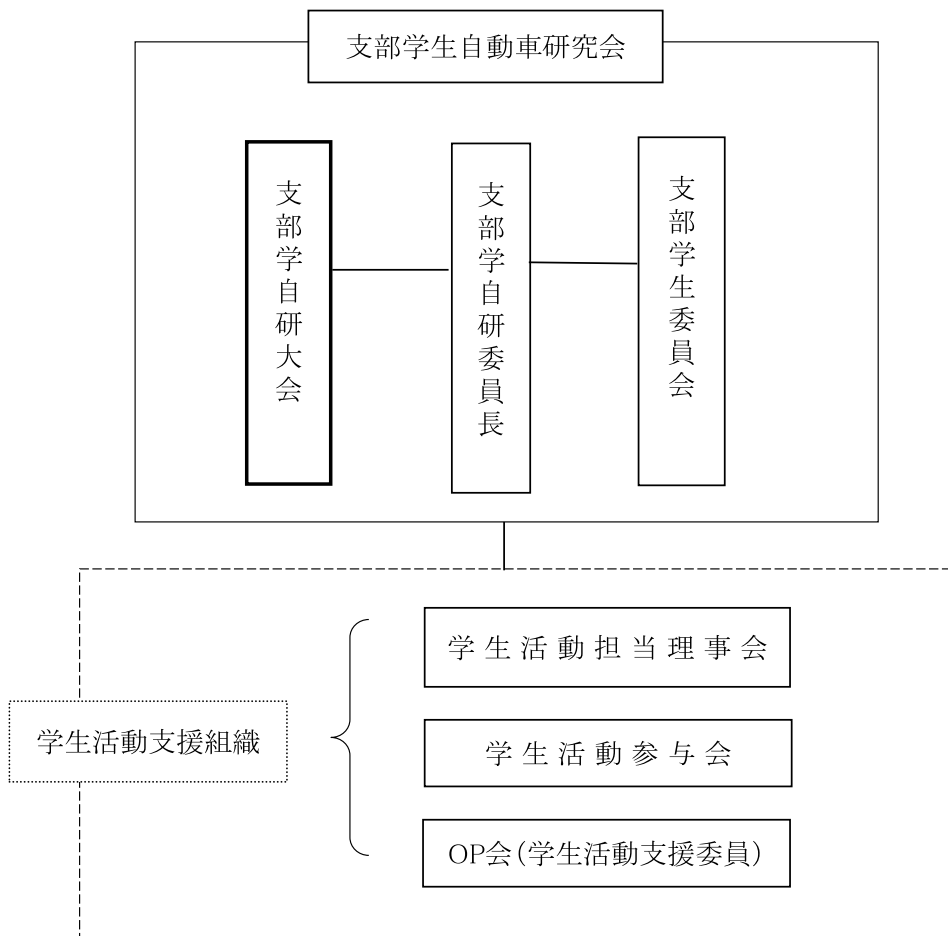
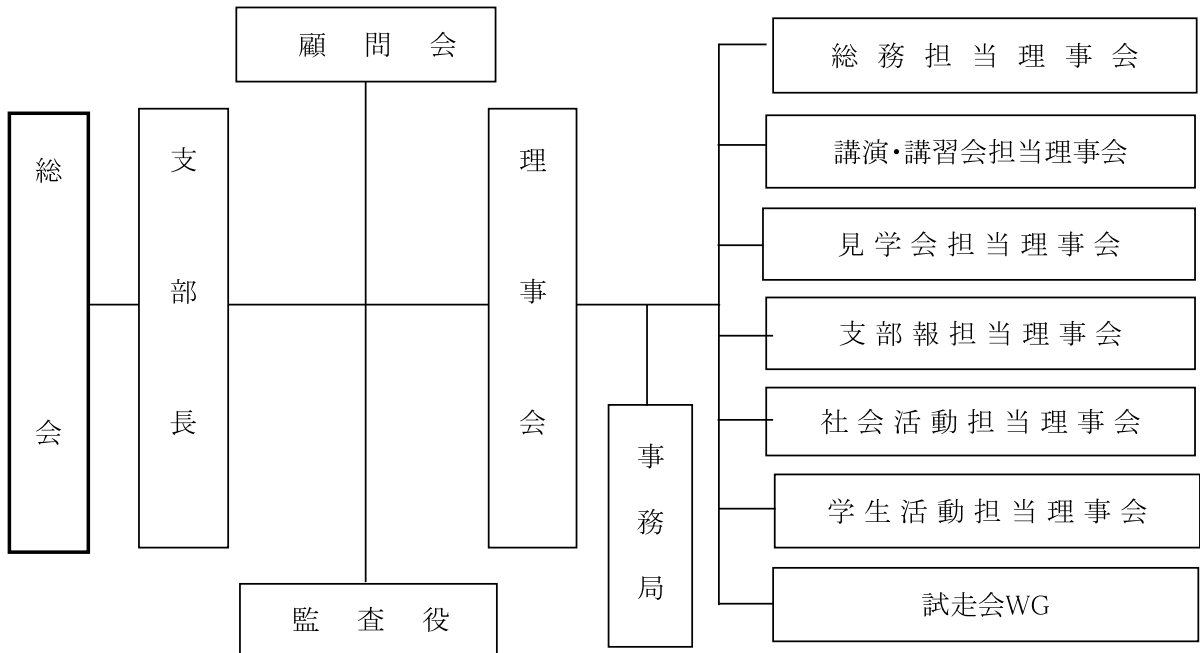
	2023年 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2024年 1	2	3	4	5	6	備考	
<b>本部</b>	24-26 ▽ 春季大会 (現地+Web)	24-26 ▽ 春季大会 (現地+Web)	5-7 ▽ 人テク展名古屋 (名古屋+Web)	4-5 ▽ キッズ 全日本学生 エンジニアフォーラム大会(掛川) 名古屋	8 ▽ 29-9/2 ▽	11-13 ▽ 秋季大会 (中部)		17 ○ 第60回 だいじん会	○ 支部担当 理事会	○ 代議員会 新年祝賀パーティ				25 ○ 第14回 定時総会			
<b>支部</b>	21 ○ 第3回 理事会 (小野測器+Web)	1 ○ 第3回 通常総会 (如水会館+Web)	17 ○ 第5回 総務担当 理事会			4 ○ 第4回 理事会(合同役員会) (自動車会館&Web)			○ グループ 担当 連絡会 (西ヶ谷orWeb)	19 ○ 第5回 理事会(合同役員会) 新春懇談会(如水会館)		○ 顧問会 (TBD)	○ 第6回 理事会 (小野測器)		○ 第14回 通常総会 (如水会館)		
<b>講演・講習会</b>		1 ▽ 29-30 ▽ 総会特別講演 基礎から (如水会館&Web)分かる モード解析 ▽ (国分寺orWeb)	29-30 ▽ 総会特別講演 基礎から (如水会館&Web)分かる モード解析 ▽ (国分寺orWeb)		▽ 順天頂衛星 (NEC)	29 ▽ 次世代モビリティ (前橋&Web)	▽ 車両運動 制御技術 (神奈工&Web)	▽ カーボン ニュートラル 燃料・水素 ▽ 空飛ぶクルマ (TBA&Web)	▽ 防衛装備庁 艦艇装備研究所 (目黒)	▽ 新春特別講演 (如水会館&Web)	▽ カーボン ニュートラル の動向 ▽ 二輪の先進 安全技術 (新横浜)	▽ 音質評価 講習会 (小野測器&Web)		▽ 基礎から 分かる モード解析 (国分寺orWeb)			
<b>見学会</b>		23 ▽ 石坂産業 (ふじみ野)	21 ▽ JR貨物 (品川)		15 or 22 ▽ 京セラ (横浜)	20 ▽ 石坂産業 (ふじみ野)			▽ 清水建設 (本場)	▽ 本田技研 (狭山)	▽ 日産自動車 (追浜)	▽ 日建 (山梨)	▽ 産総研 (つくば)	▽ 日本信号 (久喜)			
<b>支部報</b>	26 ▽ 寄稿・取材・編集 → 校正・印刷・製本 → 第81号テーマ&記事選定		1 ▽ 第80号 発行		1 ▽ 第80号 発行					1 ▽ 第81号 発行		1 ▽ 第81号 発行					
<b>社会活動</b>		3 ▽ くるま未来 体験教室 (新潟)	3 ▽ くるま未来 体験教室 (宇都宮)	4-5 ▽ キッズ エコ1 チャレンジ カップ (名古屋)	29 ▽ くるま未来 体験教室 (札幌)	29 ▽ 公開講座 エンジン (新潟)	23 ▽ キッズ エンジニア in東 北 (仙台)					3末 ▽ くるま未来 体験教室 (都内予定)					
<b>学生活動</b>	22 ▽ 学自研 大会 /参与会		▽ 学自研 講演会	▽ 学自研 見学会	▽ 富士総合火力 演習見学会		▽ カート講習会		▽ 見学会		▽ 四輪研修	▽ 学術研究 講演会 (東京電機大&Web)	▽ 学自研 大会 /参与会				・担当理事会 (2ヶ月/1回) ・学生委員会 (1ヶ月/1回)
<b>試走会WG</b>	▽ 学自研 交流会		22 ▽ 3-4,10-11 ▽ ホンダ基礎講座 ▽ EV制作講座 ▽ 技術交流会	22 ▽ 試走会 (エコハ)	7-10 ▽ 支部合同 試走会 (エコハ)	12 ▽ EV走行会	▽ ソリッドワークス 講習会										

# 議案1.

2023 年度

支部組織・役員体制の件

# 自動車技術会関東支部組織図



# 2023年度支部役員体制(案)

2023/6/1

## 1. 関東支部役員一覧

役名	氏名	勤務先・職名	
支部長	大塚 裕之	(株)日産オートモーティブテクノロジー	
顧問 (10名)	新井 康久	(株)本田技術研究所社友	
	有馬 光彦	元 日野自動車(株)	
	景山 久	元(公社)日本交通政策研究会	
	嶋田 幸夫	元 日産自動車(株)	
	竹内 覚	元 UDTラックス(株)	
	近森 順	元 芝浦工業大学	
	土井 利政	元ジヤトコ(株)	
	藤澤 正明	元日立オートモティブシステムズ(株)	
	村上 秀人	元マレリ(株)	
	遠藤 真	元日野自動車(株)	
監査役 (2名)	立川 俊洋	日本発条(株)	
	加藤 幹夫	元(株)本田技術研究所	
総務担当 理事 (10名) 兼務7名	飯高 敏	◎ (株)日産オートモーティブテクノロジー	☆
	阿部 和彦	○ 元マレリ(株)	☆
	藤川 忠弘	○ 元日産車体(株)	☆
	岡部 顕史	日本大学	兼
	倉橋 秀範	本田技研工業(株)	兼
	黒地 英樹	ジヤトコ(株)	兼
	渋谷 弘之	いすゞ自動車(株)	兼
	野田 淑子	(株)プリヂストン	兼
	本田 康裕	国土館大学	兼
	柳井 達美	日産自動車(株)	兼
渡部 寿	日立Astemo(株)	兼	
講演・ 講習会 理事 (12名)	渡部 寿	◎ 日立Astemo(株)	☆
	尾高 成也	○ 曙ブレーキ工業(株)	☆
	石動谷 充康	ジヤトコ(株)	
	大森 浩	日立Astemo(株)	
	加藤 武士	(株)本田技術研究所	
	筑後 隼人	日産自動車(株)	
	長尾 健一	(株)JHI	
	長澤 剛	東京工業大学	
	森田 賢治	(一財)日本自動車研究所	
	森田 泰弘	ポッシュ(株)	
	山川 淳也	防衛大学校	
	山口 太	(株)小野測器	
見学会 理事 (10名)	野田 淑子	◎ (株)プリヂストン	☆
	花澤 淳之	○ 日野自動車(株)	☆
	青林 龍多	いすゞ自動車(株)	
	明石 浩二	本田技研工業(株)	
	池内 亮蔵	(株)ヨロズ	
	大河戸 昌也	市光工業(株)	
	伏木田 潔	日産車体(株)	
	山本 敏朗	交通安全環境研究所	
	山崎 慎也	マツダ(株)	
	渡辺 健	マレリ(株)	

- : 新任
- ◎: 主担当
- : 副担当
- ☆: 新たに主・副担当に就任
- △: 企業名変更、所属変更

<退任数> 理事 4名  
<新任数> 理事 4名

<役員総数>  
支部長 1名  
顧問 10名  
監査役 2名  
理事(除支部長) 69名 対前年+2

役名	氏名	勤務先・職名	
支部報 理事 (10名) 兼務1名	渋谷 弘之	◎ いすゞ自動車(株)	
	大宮 正毅	○ 慶應義塾大学	
	今村 勝	日本発条(株)	
	臼井 拓也	日立Astemo(株)	
	熊谷 徹	(国研)産業技術総合研究所	
	佐々木 領一	パーソルクロステクノロジー株式会社	△
	成澤 和幸	早稲田大学	兼
	本田 康裕	国土館大学	兼
	松田 淳	横浜ゴム(株)	
	柳井 達美	日産自動車(株)	
社会活動 理事 (11名)	倉橋 秀範	◎ 本田技研工業(株)	
	岩崎 雅彦	○ 日産自動車(株)	
	小川 和義	(株)日産オートモーティブテクノロジー	
	小川 浩	(株)SUBARU	□
	佐野 吉徳	(株)ミツバ	
	横山 篤	(株)日立製作所	
	鈴木 真人	新潟工業短期大学	△
	富樫 晃	(社)日本自動車部品工業会	△
	向井 正和	工学院大学	
	武藤 英治	(株)ホンダテクノフオート	
渡辺 芳樹	日本精機(株)		
学生活動 理事 (14名)	岡部 顕史	◎ 日本大学	
	馬場 雅之	○ 元本田技研工業(株)	
	伊藤 秀明	東京都立産業技術高等専門学校	
	大瀧 嘉郎	いすゞ自動車(株)	
	岡崎 昭仁	神奈川工科大学	
	川上 洋生	元日立Astemo(株)	
	小林 佳弘	東京電機大学	
	佐藤 一成	(株)マーレフィルタースystemズ	
	鈴木 康弘	日野自動車(株)	
	田中 淳弥	工学院大学	
	中村 道郎	本田技研工業(株)	
	樋口 真文	元UDTラックス(株)	
	三原 雄司	東京都市大学	
	渡邊 一雄	日産モータースポーツ&カスタマイズ(株)	
試走会 WG (7名)	狩野 芳郎	◎ 神奈川工科大学	
	本田 康裕	○ 国土館大学	
	草刈 浩平	東京大学	
	鈴木 隆	上智大学	
	関 竜達	(株)SUBARU	□
	関根 太郎	日本大学	
	中澤 広高	(株)本田技術研究所	
会計担当	小原 和義	(株)日産オートモーティブテクノロジー	兼
	保田 正義	(公社)自動車技術会	兼
庶務理事	保田 正義	(公社)自動車技術会	
	伊藤 正純	(株)日産オートモーティブテクノロジー	

	<退任>	<新任>	
支部長			
顧問			
監査役			
理事	岩井 信夫		2023/4月
	猪瀬 潤	→ 山口 太(講演・講習会)	2023/4月
	東宮 真左人	→ 関 竜達(試走会WG)	2023/4月
	(藤川 忠弘)	→ 伏木田 潔(見学会)	2023/4月
		黒地 英樹(総務)	2023/4月
	伊藤 隆志		2022/7月

2. 学生活動参与

氏名	大学名	
西野 創一郎	茨城大学工学部	新
加藤 直人	宇都宮大学学術院	
岡崎 昭仁	神奈川工科大学	
武田 克彦	関東学院大学理工学部	
石間 経章	群馬大学理工学部	
山本 崇史	工学院大学工学部	
山口 恭平	国土館大学理工学部	○
斎藤 寛泰	芝浦工業大学工学部	
一柳 満久	上智大学理工学部	
佐藤 博之	湘南工科大学工学部	
中橋 浩康	信州大学繊維学部	
弓削 康平	成蹊大学理工学部	
窪山 達也	千葉大学大学院	
戸井 武司	中央大学理工学部	

氏名	大学名	
伊藤 誠	筑波大学システム情報系	新
吉永 昌史	東海大学工学部	
山崎 由大	東京大学大学院	
佐藤 進	東京工業大学工学院	
小平 和仙	東京電機大学理工学部	
小林 佳弘	東京電機大学工学部	
ボンサートン・ラクシンチャランサク	東京農工大学工学部	○
及川 昌訓	東京都市大学工学部	
菅沼 祐介	日本大学生産工学部	○
吉田 幸司	日本大学理工学部	
椎葉 太一	明治大学理工学部	
川原 万人	明星大学情報学部	
原 薫	ものづくり大学情報メカトロニクス科	
伊藤 安海	山梨大学大学院	
佐藤 恭一	横浜国立大学大学院	
	(計29名)	

3) 学生活動支援委員

氏名	勤務先
小船 達朗	日立Astemo(株)
山中 七皇海	日野自動車(株)

(計 2名)

4) 支部学生委員会役員

役名	氏名	所属大学	
委員長	野村 有輝	東京電機大学大学院 理工学研究科	新
副委員長(兼任)	鈴木 裕	東京大学大学院 情報理工学系研究科 (FM関東)	新
書記	内田 凌介	神奈川工科大学大学院	☆
広報	小田 草太	東京都立産業技術高等専門学校	新
広報	塚本 湧大	東京都立産業技術高等専門学校	新
会計	花井 奏太	中央大学大学院 理工学研究科精密工学専攻	新
FM関東委員長	鈴木 裕	東京大学 情報理工学系研究科	新

(計 7名)

☆は役職変更